

リアホサ



175周年を
迎える
扶助協会

14 ページ



エリザベス・ハワード、エライザ・ロキシー・スノー、そしてハンナ・タップフィールド・キングの1867年ごろの写真。
このころエライザ・R・スノーはブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）から、教会の扶助協会を組織するのを
助けるという責任を引き受けた。彼女は1880年に2代目の中央扶助協会会長となり、1887年12月5日に亡く
なるまで奉仕をした。



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
義をもって武装する
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
人に能力を授ける力——
イエス・キリストと贖罪



表紙
写真/コディー・ベル

特集

- 13 霊的な宴を準備する
マヌエル・エミリオ・シリアコ
わたしたちは、^{せいさん}聖餐会を単なる日曜日の集会以上の場として扱うことを決意しました。その結果はすばらしいものとなりました。
- 14 豊かに注がれる御霊
扶助協会の創立175周年記念に、中央扶助協会会長が、^{みたま}神聖で力強いこの組織に関する証と見解を話します。
- 26 忠実な姉に恵まれて
ラファエル・アンティロン
姉セルマの模範と証はわたしの人生を変えました。
- 30 福音と豊かな生活
クエンティン・L・クック長老
クック長老はわたしたちに、救い主と最も大事な事柄に焦点を当てる人生を選択することの大切さを思い起こさせています。

シリーズ

- 8 2016年10月の大会ノート
- 10 救い主の方法で教える——
教義を教える力
ダグラス・D・ホームズ
- 38 信仰の肖像——
マルクス・ティルグナー
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
ダンディの残した教訓
デビッド・O・マッケイ大管長



44 信者の模範になる

ボン・G・キーチ長老

争いや怒りを引き起こすことなく、人々に真理を教えるようにという神の命令を果たすにはどうすればよいでしょうか。

48 ヤングアダルトのプロフィール — 南アフリカで世界を味わってみる

マッケンナ・ジョンソン

あるヤングアダルトが、周りの聖徒たちの行いに主の理解と愛を感じます。



50 悔い改めについて抱く7つの恐れと、恐れる必要はない理由

デビッド・A・エドワーズ

わたしたちは、恐れのために悔い改めを引き延ばすことがよくあります。これらのアイデアと提案は、真に変わるための勇気を見いだせるよう助けてくれることでしょう。

54 医者から言われたとおりに

シャーロット・ラーカバル

薬や注射と違い、悔い改めは喜ばしいものです。

57 そこが知りたい

天のお母様についてどのようなことを知っていますか。性教育はどのようにして教えられるべきでしょうか。

58 伝道地から —

ためらいながらも信仰を示し、豊かに祝福される

アサイアス・バルガス・チャバリア

60 わたしたちのスペース

62 ポスター — 希望を選びましょう

63 教会指導者からの答え —

信仰の試しに立ち向かう方法

ニール・L・アンダーセン長老

64 土壇場の奇跡

シーザー・H・ボニート・デュアルテ

わたしはインターンシップの期間中ずっと、故障した機械の修理に取り組んできました。土壇場での祈りはこたえられるのでしょうか。



66 待つことがある

ジェシカ・ラーセン

サディーは8才になりました。でもお父さんはバプテスマを受けることをまだゆるしてくれません。

68 使徒からの答え —

自分は足りないと思ったらどうすればよいですか

ジェフリー・R・ホランド長老

69 質問コーナー

わたしはときどき家族にいらいらします。どうすればよいでしょうか。

70 心やさしい子供たち —

愛をえがく

ジル・ハッキング

72 すばらしい気持ち

ジェーン・マクブライド

パウロはバプテスマを受けてからまだ1日もたっていないのに、間違いをおかしてしまいました。せいさんはどのように助けとなるのでしょうか。

74 神の預言者を見る

キム・B・クラーク長老

わたしは初めて預言者を実際に見たときのことを覚えています。

75 教会歴史の登場人物 —

教会が組織される

76 イエスのお話 —

バプテスマを受けられたイエス

キム・ウェブ・リード

79 色をぬりましょう —

わたしは体に感謝します



今月号の中に

隠れている

リアホナを

探しましょう。

ヒント —

どうやって身長をはかりますか？

リアホナ 2017年3月号

第19巻3号(14443 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オックス、M・ラッセル・バラード、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラスバンド、ゲアリー・E・ステイブンソン、テール・G・レンランド

編集長: ジョセフ・W・シターティ

編集長補佐: ランドール・K・ベネット、キャロル・F・マッコンキー

顧問: ブライアン・K・アシュトン、ジーン・B・ビンガム、リグランド・R・カーティス、ジュニア・クリストフェル・ゴールデン、ダグラス・D・ホームズ、エリック・W・コビシュカ、ラリー・R・ローレンス、キャロル・M・ステイブンズ

実務運営ディレクター: ビーター・F・エバンズ

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーグ

ビジネスマネージャー: ガーブ・キャンノ

編集主幹: アダム・C・オルソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

出版補佐: クレミルダ・アマラル

執筆・編集: ベサニー・バーソロミュー、ブリクニー・ビーティ、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリットン、ローリー・フラー、ギャレット・H・ガーブ、ラリー・ポーター、ガーント・シャロット・ラウカバル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、サリー・ジョンソン、オデカーク、ジョシュア・J・パーキー、ジャン・ピンボロー、リチャード・M・ロムニー、ミンディー・アン・セル、マリッサ・ウィティンソン

編集インターン: メーガン・アームクネヒト

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、C・キンボール・ボット、トーマス・チャイルド、デビッド・グリーン、コリン・ヒンクレー、エリック・P・ジョンセン、スザン・ロフグレン、スコット・M・ムーイ、マーク・W・ロビンソン、レイチェル・スミス、ブラッド・テアー、K・ニコール・ウォーケンホースト

デザインインターン: ミシェル・ネルソン

版権および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: ジェン・アン・ピーターズ

制作: グレン・アデア、コニー・パウソープ、ブリッジ・ジュリー・パーデット、ブライアン・W・ギューギ、コニー・J・ニルソン、ゲイル・テイト・ラファティ、デレク・リチャードソン

製版: ジョシュア・デニス

印刷ディレクター: スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター: トロイ・K・ビルンガ

日本語版翻訳・制作課長: 森田真貴

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号 / 00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話: 03-3440-2351

年間購読: 国内 1,250 円(送料込み)

海外 1,250 円(送料実費)

海外在住の方は近隣のディストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。

普通号/太号号 130 円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバニア語、アルメニア語、ビスマラ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2017 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

著作権情報: 「リアホナ」に掲載されているものは、制限の記載がない限り、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複写することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., FL 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

March 2017 Vol. 41 No. 3. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-9711. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2).

NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。

以下に二つの例を挙げます。



「信者の模範になる」44 ページ —— キーチ長老は、愛と思いやりをもって福音の教義を擁護することの重要性について述べています。お話を読み、家族が生活の中で福音を擁護することが必要となったときの経験について話し合うとよいでしょう。また、自分の信条を擁護した人物に関する聖典の話を読んでよいでしょう。例えば、ダニエルやエステルの話などです。それらの人々は、周りの人への愛と主への愛をどのように示したでしょうか。家族でロールプレイをして、様々なテーマについて、穏やかで理解を示す態度で自分の信条を述べる練習をするとよいでしょう。

「自分は足りないと思ったらどうすればよいですか」68 ページ —— ホランド長老は、わたしたちが最高の自分になれていないと感じるときにどうすればよいかわせています。天の御父から授かっている才能について家族で話し合って書き出し、家族のだれにどのような才能があると思うかを発表してもらいます。家族の一人一人に、1 か月間で達成したい目標の一つ書いてもらい、目標を達成する方法や、自分の才能がどのように役立つか、また目標を達成するためにどのような技能を高める必要があるかなどについて話し合うとよいでしょう。後日この活動についてフォローアップし、目標を立ててそれを達成するために努力するよう家族を励まします。

インターネットで得られる追加情報

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。靈感あふれるメッセージや家庭の夕べのアイデア、友達や家族と分かち合える内容を見つけるために、[Facebook.com/iahona.magazine](https://www.facebook.com/iahona.magazine) (英語・ポルトガル語・スペイン語) をご覧ください。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 44, 70

イエス・キリスト, 7, 76

折り, 4, 61, 63, 64, 66

戒め, 80

家族, 26, 30, 60, 69, 70

家族歴史, 40

家庭訪問, 40, 41, 43

感謝, 30, 79

希望, 50, 62

教会歴史, 75

悔い改め, 50, 54, 63, 72

謙遜, 30

従順, 58, 80

贖罪, 7

女性, 14, 26, 40

信仰の試し, 63

真実, 44

聖餐, 13, 63, 72

聖約, 4

聖霊, 41, 42, 63

選択, 30

伝道活動, 26, 58

バプテスマ, 61, 66, 76

フェローシップ, 13, 43, 48

扶助協会, 14, 40, 41

奉仕, 41, 42, 63

模範, 26, 44

預言者, 4

霊的な守り, 4, 14, 80



大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

義をもって 武装する

この地上における神の預言者、トーマス・S・モンソン大管長はこう述べています。「今日わたしたちの目の前には、罪、悪徳、邪悪が結集して陣を張っています。」¹

モンソン大管長がこのように語ったのが50年前だという事実は、皆さんにとって驚きでしょうか。その当時、前代未聞の邪悪が結集して陣を張っていたのなら、今日ではどれほどの悪がわたしたちを脅かしていることでしょうか。確かな理由から、主はこの神権時代について、「見よ、敵は連合している」と宣言されました（教義と聖約 38：12）。

「戦い止むまで」²と歌われている戦いの始まりは、わたしたちがこの地上に生まれる前、地球が創造される前にまでさかのぼります。それは数千年前、前世において始まりました。そこでサタンは反抗し、「人の選択の自由を損なおうとし」ました（モーセ 4：3）。

サタンはその戦いに敗れて「地に投げ落とされ」（黙示 12：9）、今日も戦いを続けています。この地上において、「〔サタン〕は神の聖徒たちに戦いを挑み」、うそと欺きと誘惑で「彼らを取り囲」んでいるのです（教義と聖約 76：29）。

サタンは預言者と使徒に戦いを挑んでいます。純潔の律法と結婚の神聖さ、家族と神殿に戦いを挑んでいます。善良なこと、聖いこと、神聖なことに戦いを挑んでいるのです。

そのような敵と、どのように戦ったらよいのでしょうか。世を飲み込むかのような悪に対して、どのように立ち向えばよいのでしょうか。わたしたちの武具は何でしょうか。わたしたちの味方はだれでしょうか。

小羊の力

預言者ジョセフ・スミスはこう教えています。「わたしたちが許さないかきり、悪魔はわたしたちを支配する力を持ちません。」³

わたしたちの時代を見たニーファイはこう述べています。「神の小羊の力が、地の全面に散っている小羊の教会の聖徒たち、すなわち主の聖約の民のうえに下るのを見た。彼らは義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装していた。」（1 ニーファイ 14：14、強調付加）

義と力とをもって武装するにはどうしたらよいのでしょうか。わたしたちは安息日を聖く保ち、神権を尊びます。神聖な聖約を交わして守り、家族歴史に取り組み、神殿に参入します。絶えず悔い改めるように努め、「わたしたちが罪の赦しを受けて……、キリストの贖いの血の効力を及ぼしてください」よう、主に嘆願します（モーサヤ 4：2）。祈り、奉仕し、証し、イエス・キリストへの信仰を働かせるのです。

「絶えず命の言葉を〔わたしたち〕の心の中に大切に蓄える」ときにも（教義と聖約 84：85）、義と力とをもって武装



することになります。聖文や、来月の総大会を通して、わたしたちは主の心と思い、声（教義と聖約 68：4 参照）を伝えるために選ばれた主の僕^{しもべ}たちの言葉を深く味わい、大切に蓄えるのです。

悪との戦いにおいて、幕の両側からの助けがあることをいつも覚えておかなければなりません。わたしたちの味方には、永遠の父なる神、主イエス・キリスト、聖霊がおられます。

目に見えない天の軍勢もわたしたちの味方です。悪の軍勢に囲まれ、恐れを抱いた若者に対して、エリシャは「恐れることはない」と言い、こう続けました。「われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから」（列王下 6：15 - 16 参照）。

恐れる必要はありません。神は御自分の聖徒たちを愛しておられます。神がわたしたちをお見捨てになることは決してありません。

神がわたしの祈りにこたえられ、悪

からお救いくださるようにとの嘆願をかなえてくださったことを知っています。父なる神と世の救い主、聖霊の助けにより、わたしたちがどのような悪の力に立ち向かうとも、それに耐え得る、必要以上の力が確かに与えられることを証します。

最終的な勝利を得るうえで確信を

抱くべく、常に義をもって武装することができますように。■

注

1. トーマス・S・モンソン, "Correlation Brings Blessings," *Relief Society Magazine*, 1967 年 4 月, 247
2. 「戦い止むまで」『賛美歌』162 番
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』213 参照

このメッセージから教える

アイリング管長は、わたしたちが悪との戦いの中にいることを思い起こさせています。教える際、「戦い止むまで」『賛美歌』162 番を歌って始めてもよいでしょう。その後、義を通してこれまでどのように守られてきたかを分かち合ってもらい、健全なメディアを選ぶ、家族評議会を開く、毎週家庭の夕べを行うなど、サタンから家族を守る方法についてアイデアを出し合うように勧めてもよいでしょう。家族の霊的なとりでを築く方法について、祈りをもって深く考えるように勧め、考えたアイデアを実行する計画を作るように励ますこともできます。

わたしはあらかじめ決めていました

マディソン・トンプソン

わたしは以前若い女性のクラスで、性的な清さについて貴重なレッスンを受けました。それは、そこにいた若い女性の多くが居心地の悪さを感じるようなテーマでした。その日学んだことのすべてを思い出すことはできませんが、指導者が自分の個人的な標準の一つについて話してくれたのをよく覚えています。それは常に性的に清くあるということでした。彼女の言葉が心に残ったわたしは、それを自分自身の価値観として取り入れようと決めました。

ある日、スポーツの試合が終わり、バスで家に向かっていて、バスに乗っていただれかが「真実か挑戦か」というゲームを始めました。退屈だったので、わたしとほかの数人の子供たちが加わ

りました。わたしの番になると、正しくないと分かっていることに挑戦しなくてはならなくなりました。これはわたしにとって難しい決断になり得たでしょうが、若い女性の指導者の言葉が心に浮かび、簡単に選ぶことができました。わたしはすぐにゲームから降りたのです。そのような状況に陥ったときにどうするかを、わたしはあらかじめ決めていました。

教会に行き、そこで教えられることを行おうと努力をするとき、わたしたちは祝福を受け、さらなる霊的な力と、世の誘惑からの守りを得られると知っています。

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

子供

武具を身に着ける

今日、世の中には悪いものがたくさんあります。福音は、わたしたちを守ってくれる「たて」のようなものです。アイリング管長は、自分を守るためにできる10のことを教えてくださいました。それぞれ、絵の中から同じ番号を見つけ、番号の両側にある点と番号を、線でつないでいきましょう。終わったら、色をぬりましょう。

1. 安息日をきよくたもつ
2. 神権をとうとぶ
3. 聖約を交わして守る
4. 家族歴史に取りくむ
5. 神殿に行く
6. 悔い改める
7. いのる
8. 人に奉仕する
9. あかしをのべる
10. 聖文を読む



人に能力を授ける力——イエス・キリストと贖罪^{しよくざい}

よく祈りながらこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるようお願い求めてください。
扶助協会の目的を理解することで、神の娘たちはどのように永遠の命の祝福に備えられるでしょうか。



信仰
家族
扶助

「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができ。」(ピリピ4:13)「だれにでも弱さがありますが、克服することができます」と、大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は述べています。「実際、もしへりくだり、信仰を持つならば、神の恵みによって、弱さは強さとなり得るのです。」¹

教義と聖約の中で、救い主はこのように語られました。「わたしはあなたがたに先立って行こう。わたしはあなたがたの右におり、また左にいる。わたしの御霊^{みたま}はあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう。」(教義と聖約84:88)

「ニーファイは救い主が持つておられる人に能力を授ける

力について知り、理解し、その力に頼った人物の一人です」と十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は言います。「[ニーファイの]兄たちはニーファイを縄で縛り、殺そうとします。ニーファイの祈りに注目してください。『おお、主よ、あなたを信じるわたしの信仰により、兄たちの手から救い出してください。まことに、わたしを縛っているこの縄を断ち切る力をお与えください。』(1ニーファイ7:17, 強調付加)

……ニーファイ〔は〕状況を変えてくださいとは祈〔りません〕でした。それよりも、状況を変える力を祈り求めたのです。ニーファイがこのような祈ったのは、贖罪が持つ、人に能力を授ける力について知り、理解し、身に受けていたからにほかならないと、わたしは信じてい

ます。

ニーファイを縛っていた縄が魔法のように手首から落ちたわけではないと思います。そうではなく、ニーファイは祝福されて本来の能力を超えた粘り強さと身体的な強さの両方を授かり、『主の力を受けて』(モーサヤ9:17)、縄をねじったり、引っ張ったりしながら苦労した末に、文字どおり縄を断ち切ることができたのではないのでしょうか。」²

その他の聖句と資料

イザヤ41:10; エテル12:27;
www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn

注

1. ディーター・F・ウークトドルフ「恵みの賜物^{たまもの}」『リアホナ』2015年5月号, 108
2. デビッド・A・ベドナー「自分が持つ以上の力」『リアホナ』2015年3月号, 54



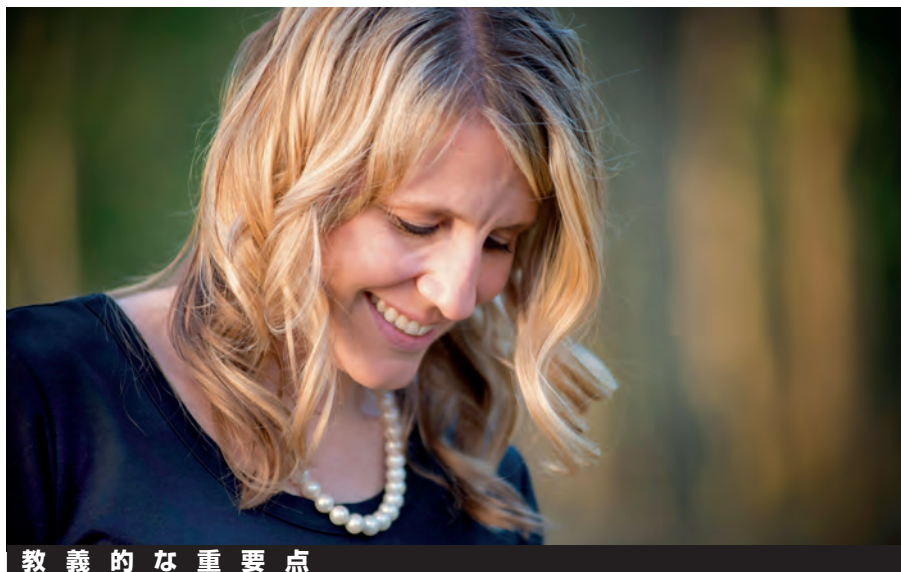
考えてみましょう

人に能力を授ける
イエス・キリストと
その贖いの犠牲^{あがな}に
よって、
わたしたちは
どのように
自分の弱さを
強さに
変えることが
できるでしょうか。

2016 年 10 月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、
それは同じである。」(教義と聖約 1:38)

2016 年 10 月の総大会を振り返る際に、このページ(および今後の大会ノート)を使って、
生ける預言者と使徒、他の教会指導者が語った最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。



教 義 的 な 重 要 点

喜びはわたしたちが 靈的に生き抜く道です

「**生**活の中心を神の救いの計画とイエス・キリスト、主の福音に向けるなら、人生で何が起こっても、起こらなくても、喜びを感じることができます。……

主の喜びは絶えず、わたしたちの『逆境と……苦難は、つかの間にすぎ』ず〔教義と聖約 121:7〕、聖別されてわたしたちの益となることを確信させてくれるのです。……

すべてにおいて、イエス・キリストは最大の模範であり、『自分の前におかれて
いる喜びのゆえに、……十字架を忍』ばれました〔ヘブル 12:2〕。そのことを
考えてみてください。この地上で最も耐え難い苦しみ^{たまもの}に耐えるために、救い主は
喜びに目を向けられたのです。……

世に目を向け、この世の幸福への公式に従っても、決して喜びを知ることはできません。喜びは、忠実な者に与えられる賜物です。」

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン会長

「喜び——靈的に生き抜く道」『リアホナ』2016 年 11 月号, 82, 83, 84

預 言 者 の 約 束



信仰でできない
二つのこと

1. 「天の御父……はだれにも義の道を選ぶように強制なさない……」のです。前世においても、神はその子供たちに御自分に従うよう強制されませんでした。そうであるなら、今この現世を旅するわたしたちを強制されることがないのは当然でしょう。

神は招き、説得してくださいます。たゆまず、愛と靈感と励ましをもって手を差し伸べてくださいます。しかし、決して無理強いされることはありません。永遠の進歩をもたらす主の偉大な計画を台なしにしてしまうからです。……

2. 「信仰でできない……ことは、神にわたしたちの思いを無理強いすることです。自分の望みをかなえてくださるよう神に強要することはできません。たとえどんなに正しいと思えても、どれほど心から祈ったとしてもです。……

そうです。信仰の目的は、神の御心を変えることではなく、神の御心に従って行動する力を受けることです。信仰とは信頼です。わたしたちには見えないことを神は御覧になり、わたしたちが知らないことを神は御存じであると信頼することです。」

大管長会第二顧問

ディーター・F・ワークトドルフ管長

「4 階の最後のドア」

『リアホナ』2016 年 11 月号, 16, 17



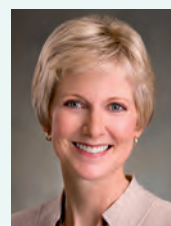
より良い会員宣教師になる

トーマス・S・モンソン大管長は 2013 年 10 月の総大会で次のように述べています。「今こそ、会員と宣教師が一致協力〔する〕時です。……もしわたしたちが主の業を成し遂げるために信仰をもって行動するなら、主はわたしたちの働きを助けてくださいます。」

二人の使徒が、より良い会員宣教師となるようわたしたちを励ましています。彼らが話したことを読むには、2016 年 11 月号を用いるか、conference.lds.org をご覧ください。

— ニール・L・アンダーセン「神の証人」35 参照

— ダリン・H・オクス「回復された福音を分かち合う」57 参照



ほかの人々に慈愛を示す

「イエス・キリストは慈愛を完全に体現された御方です。……

福音の光にかざして、救い主が御覧になるように、思いやりと希望と慈愛をもってほかの人を見れるようになりたいものです。ほかの人の心が完全に理解できるようになり、自分に伸べられた慈愛に感謝する日がやって来ます。それは、わたしたちが、……ほかの人に慈愛ある思いをもって、愛ある言葉をかけるのと同じです。……

わたしたちの義務であり特権は、救い主イエス・キリストのようになる努力をしながら、すべての人の成長を受け入れることです。」

中央初等協会会長第一顧問

ジーン・B・ピンガム

「わたしは福音の光を家庭にもたらしめず」

「リアホナ」2016 年 11 月号, 6, 8

大会の物語

転機

これらの人々の生活を変えた事柄を読むには、2016 年 11 月号を用いるか、conference.lds.org をご覧ください。

- ヘンリー・B・アイリング管長は祭司だったときにアロン神権について何を学んだでしょうか。——「彼らも強くなるためである」75 参照
- デール・G・レンランド長老は 12 歳のときに悔い改めについて何を学んだでしょうか。——「悔い改め一喜びに満ちた選択」121 参照
- ゲーリー・E・スティーブンソン長老はどのようにしてモルモン書の証を得たでしょうか。——「モルモン書に目を向け、主に目を向ける」44 参照
- クレーグ・C・クリステンセン長老はセミナリーの生徒のとき、モルモン書の読み方をどのように変えたでしょうか。——「一人の聖見者を立てよう」27 参照



総大会説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、
lds.org/general-conference?lang=jpn に
アクセスしてください。

教義を教える力

力と権威をもって教義を教える能力を高めるには、どうすればよいでしょうか

中央若い男性会会長
第一顧問

ダグラス・D・ホームズ

新任伝道部会長になって任地に到着したとき、わたしは自分が若い宣教師時代に経験したような、御霊に満たされた宣教師集会を大いに期待していました。ところが初めてのゾーン大会を終えたとき、がっかりしていました。期待していたほど豊かな御霊が感じられず、うわの空のような宣教師もいたからです。

自分たちの生活と宣教師の生活にもっと豊かに御霊を招くにはどうすればよいか、妻と二人でよく考え、祈りました。すると、キリストの教義と、その教義が持つ、人を変える力に焦点を当てて教えるべきだという導きを受けました。それから数か月にわたってその導きに従ったところ、数人の宣教師がわたしのもて来て過去の行動に対する反省の言葉を述べ、もっと熱心に伝道ルールを守って福音に従いたいと言ったのです。

何がこの変化をもたらしたか

十二使徒定員会会長であったボイド・K・バッカー会長（1924－2015年）は、度々次のように教えました。「真実の教義を理解するならば、態度と行動



が変わります。人の行動は、行動について研究するよりも、福音の教義を研究した方が早く改善されるのです。」¹ 神の言葉に人の心を変える力と効果があることはその前から知っていましたが、この宣教師の件があってからは、それがはるかによく理解できるようになりました（アルマ 31：5 参照）。



伝道を進め、教義を教えることに重点を置いて指導していくと、宣教師の心は変わり、わたしたちの心も変わりました。教義が理解できたために、「何に」「どのようにして」従うのかだけでなく、「なぜ」従う必要があるのかを理解できたのです。

教義を教えることに大きな効果があるのはなぜか

大管長会のヘンリー・B・アイリング管長はこう教えています。「神の言葉とは、イエス・キリストと主の預言者たちによって教えられた教義です。」² まことの教義はキリストを中心にしています。キリストの教義が御霊によって教えられ、受け入れられるならば、この御方を信じる信仰は必ず強くなります（アルマ 32：28－43；モロナイ 7：25，31－32 参照）。³ 信仰は「すべての行動の原動力」です。⁴ 御霊にあふれる言葉によって御父と御子のことが明らかになると、信仰が深まり、悔い改めて従おうという望みが強くなり、わたしたちは変わります。

心を変える力は、教師ではなく、「神の言葉の力」にあります（アルマ 31：5）。紙に書かれた文字や口から出る声そのものに、心を変える力はありません。しかし、真実の言葉に神の聖なる御霊の力が宿った場合、その言葉は、大きな心の変化をもたらす力を持つのです（1コリント 2：4；1テサロニケ 1：5；モーサヤ 5：2；アルマ 5：7；教義と聖約 68：4 参照）。御霊によってキリストの言葉を教えるならば、学ぶ人の心に聖霊が光と真理を届けてくださいます（ヨハネ 6：63；2ニーファイ 33：1；教義と聖約 84：45 参照）。学ぶ人が心を開いて御言葉を

受け入れるならば、御霊がその人の思いを照らし、その人の心、すなわちその人の動機と行いを変えます。

モルモン書は「真実の教義を理解するならば、態度と行動が変わ^{あかし}る」ことを力強く証しています。幾つか例を挙げましょう。

- ベニヤミン王が天使から授かった言葉を民に教えると、御霊が民の心に大きな変化を生じさせた。その結果、民は「悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つように」なった（モーサヤ 5：2）。
- 父アルマが民に教えると、民は「永遠の御言葉の光に照らされるようにな^{あかし}る」ように救われた（アルマ 5：7。9 節も参照）。
- モーサヤの息子たちは「神の御言葉の力のおかげで」（アルマ 26：13）、何千人というレーマン人に完全な心の変化を生じさせた（アルマ 17：14－17；53：10 参照）。

どうすれば改善できるか

力と権威をもって教義を教える能力を高めるために、だれにでもできることがあります（アルマ 17：3；ヒラマン 5：18 参照）。教授法や宗教教育の分野で博士号を取得する必要はありませんが、犠牲を払うことはぜひとも必要です。以下の方法は、教義の力を受けて教えようとするときに役立つことでしょう。

1. **御言葉を蓄え、実践する。** 力と権威をもって教義を教えるためには、その教義を知る必要があります。救い主はジョセフ・スミスとハイラム・スミスに、主の言葉を告げる前に、まず主



簡潔さは 理解をもたらす

「福音の第一の原則を宣べ伝えなさい。繰り返し宣べ伝えなさい。そうすればあなたは、来る日も来る日もそれらについての新しい考えが明らかにされ、さらなる光が与えられることに気づくでしょう。原則についていっそう深く知ることにより、それらを明確に知ることができます。そうすればあなたは、教える人々にいっそうはっきりと理解させることができるでしょう。」

ハイラム・スミス、
History of the Church、
第6巻、323で引用

の言葉を求めなければならない、そうすれば主の御霊と主の言葉、すなわち「人々を確信に導く神の力」を受けるであろうと言われました（教義と聖約11：21）。このような理解を得るには、ハワード・W・ハンター大管長（1907－1995年）が言ったように、「通り一遍の読み方……では不十分です。」毎日、密度の濃い研究をしなければなりません。⁵

研究するだけでは不十分です。教義を知りたいのであれば、その教義を実践しなければなりません（ヨハネ7：17；アルマ12：9参照）。聖文と生ける預言者の言葉を熱心に研究し応用することによって、「わたしたちの内に」主の言葉の力が宿ようになります（アルマ26：13。アルマ17：2－3；32：42も参照）。

2. 教義を教える。わたしたちは真実の教義のみを教えるように気をつけなければなりません。聖霊は「真理の御霊」です（ヨハネ15：26）。わたしたちが「使徒たちと預言者たちの教え……だけ」を宣言し、推測や個人的な解釈を避けるとき（教義と聖約52：36）、学習者は確信を与える証を感じることができます。偽りの教義に近寄ることすらないようにするための最善の方法の一つは、常にシンプルに教えることです（モーサヤ25：22；3ニーファイ11：39－40参照）。加えて、生徒が語る意見や経験を自分たちが学んでいる教義に結びつけるべきです。

3. 御霊によって教える。忘れてならないのは、教えるとは、決して自分を中心にした行為ではないということです。神にひたすら目を向けなければなりません。娯楽を提供したり、自分自身を世の光としたりしてはなりません。パウロはコリント人に、自分が彼らのところに行ったときには、「弱くかつ恐れ、ひどく不安であった」と言っています（1コリント2：3。4節も参照）。この言葉から察するに、パウロは十分にリハーサルを繰り返し、台本に基づいて説教をしたわけではなかったようです。

神の御手に使われて人の心を変えるには、聖霊に道を譲って真理を教えていただく必要があります。教える準備をする際に忘れてはならないのは、レッスンで最も大切なのは聖霊を伴侶とすることだということです。クラスに御霊を招くために、できることをすべて行ってください。教えるときは、恐れずに、一息入れて御霊の導きに耳を傾け、それを感じられるようにしてください。

神のすべての言葉をよく味わい、その言葉に従って生活し、聖霊の力によってまことの教義のみを教えてください。そうするならば、わたしたちは主が教師の心と生徒の心を変えてくださることに気づくことでしょう。わたしは、神の言葉がわたしの心に変化をもたらしてくれることと、まことの教義を力と権威をもって教えてくれる教師について、日々神に感謝しています。■

注

1. ボイド・K・バックナー「幼き子ら」『聖徒の道』1987年1月号、18－19参照
2. ヘンリー・B・アイリング「教義を教える力」『聖徒の道』1999年7月号、86
3. 十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長はこう教えている。「イエス・キリストの教義は、わたしたちが信仰を増すことができるよう、主が用意してくださったものです。」（『信仰を表す』『リアホナ』2014年5月号、29）
4. *Lectures on Faith*（1985年）、1－2
5. ハワード・W・ハンター「聖典を読む」『聖徒の道』1980年3月号、87参照

霊的な宴^{う た げ}

を準備する

マヌエル・エミリオ・シリアコ

わ たしがビショップリックの第一顧問に召されたとき、ワードの聖餐会^{せいさん}の出席者が減ってきていました。ビショップリックは心を込めて断食をし、どうやって会員を強くしたらよいか知るために知恵を授けてくださるよう、天の御父に祈ることにしました。

主はわたしたちに、聖餐会を霊的な宴として強調するようとの靈感を与えてくださいました。そこでわたしたちは、会員やその友人、隣人を聖餐会に招き、霊的な宴を経験してもらうための方法を考えだしました。次のような文面の招待状を作ったのです。「霊的な宴に出席し、主がおられることを、来て、聞いて、見て、感じてください。」そしてそれを、若い男性と女性を含む会員一人一人に渡しました。

また、8人の小さなワード聖歌隊^{けいけん}を組織しました。よく祈って、霊的な賛美歌と話者を選び、この会が敬虔なものになるよう会員に助けてもらいました。



次のような文面の招待状を作ったのです。

「霊的な宴に出席し、主がおられることを、来て、聞いて、見て、感じてください。」

霊的な宴の準備がすべて整いました。その日曜日の出席者は、求道者と、あまり教会に来ていない会員を入れて42人でした。2回目の霊的な宴には、求道者とあまり教会に来ていない会員が64人出席しました。3か月後には、礼拝堂に入り切れないほどの出席者数となり、6か月後には、ワードが大きくなりすぎて、二つのワードに分割する準備を行うまでになりました。

聖餐会を単なる日曜日の集会ではなく、神聖な経験をすゝる場として扱うことによって、神聖な宴を開くことができました。その結果、聖なる霊的な宴を通して愛する人々をキリストのもとに招くすばらしい機会を頂くことができるということが分かりました。

わたしたちは聖餐会の質を上げてさらに御霊^{みたま}のある敬虔な場にしようと準備しました。それによって、末日聖徒イエス・キリスト教会に来て、喜びを見たり感じたり見いだしたりするなど想像すらしなかった人々が、出席するようになったのです。■

著者はドミニカ共和国在住です。

どうすれば聖餐をさらに霊的な儀式にすることができるか

- ・ 準備は家庭から始めることができます。聖餐でさらに良い経験ができるようにするための方法を、家族で話し合うのです。
- ・ 聖餐を執行する神権者は、自分たちが主に代わって聖餐を会員と分かち合っていることを意識しながら、敬虔な態度で執行してください。聖餐を祝福する人は、祈りを単なる言葉の繰り返しではなく、神と交わる神聖な機会としましょう。



1842年3月17日

新たに設立されたノーブー女性扶助協会の会長になった直後、エマ・スミスは同協会の目的について話しました。「悩める者を探し出して助け」「善を行う熱意を持〔ち〕」「道徳が低下しないよう見守る」のがその目的だとエマは言っています。¹

「扶助協会は
貧しい人を
助けるだけでなく、
人を救うために
存在します。」²
——ジョセフ・スミス





豊かに注がれる 御^み霊^{たま}

この扶助協会創立 175 周年記念に、
愛と力を込めて語る中央会長会が、
扶助協会の姉妹であるわたしたちに
気持ちや見解、証^{あかし}を語ってくれます。

「わ たしたちは教会のすべての姉妹を愛しています」と中央扶
助協会会長のリンダ・K・バートンは、自分と二人の顧問、
キャロル・M・スティーブズ（第一顧問）とリンダ・S・
リーブズ（第二顧問）の思いを語ります。「永遠の命に向かう聖約の道
を助け合って歩む以上のことを、望むことができるでしょうか。神は
モーセ書第 1 章 39 節で、御自身の目的を明らかにしておられます。『見
よ、人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、
わたしの栄光である。』扶助協会でわたしたちは、永遠の命という祝福
に備えられるよう女性を助けます。天の御父とイエス・キリストとその贖^{しよく}
罪^{ざい}を信じる信仰を深め、儀式と聖約を通して個人と家族、家庭を強め、
困っている人を一致して助けることによって、これを行います。』³

扶助協会の目的を心に留めて実践するならば、末日聖徒の女性とし
てわたしたちは、全世界に非常に良い影響を与え、『良い意味で区別さ
れ、異なっ』⁴ くるでしょう。これこそ、わたしたちが扶助協会の姉妹
に望むことです。」

この記事では教会機関誌スタッフとのインタビューで、中央扶助協
会会長会の姉妹たちが、今日の関心事について質問に答え、未来への
展望を語っています。



ノーブー扶助協会、
赤レンガの店で
設立される。



ユタ扶助協会は最初、
アメリカ先住民の女性や子供の
衣類を作るために発足した。

1840

1842

1844

1850

1854



エマ・H・スミス
1842年

ジョセフ・スミス
と
ハイラム・スミス
の殉教。



「ジョセフとハイラムの殉教」の一部、
ゲラリー・アーネスト・スミス画



ユタ

で扶助協会は人を救い、困っている人を助ける業を引き続き行いました。また扶助協会は、マーティン手車隊とウィリー手車隊を含む、到着した入植者の世話もしました。日用品や食料を供給し、医療処置を受けられるようにしたのです。地元ワードの扶助協会は、姉妹たちが集まって貧しい人を世話し、事業を展開して物品を販売するためにホールを建設し始めました。ワード扶助協会ホールの建設は1868年に始まり、1924年に終わります。

1. 扶助協会はどのようにして、文化や状況の異なる女性を一致させているのですか。

バートン姉妹：扶助協会の目的を覚えて実践することにより、わたしたちは文化を超えて一致できるようになります。昨年ウルグアイで、人生最悪のときに扶助協会の会長に召されたという女性に会いました。「今はできません」と言いたくなったそうです。でも、神聖な聖約を交わしていたためにこう言いました。「依頼されたことは行います。わたしには、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰があります。主の贖いを通してそれができることを知っています。」そして、わたしにこう言ったのです。「教会の姉妹たちに奉仕するうちに、召しを通して生活に光が注がれました。主に頼ると、主はわたしを祝福してくださいました。」

この話を聞いて、扶助協会の目的のすばらしさが分かりました。天の御父とイエス・キリストとその贖いを信じる信仰が、彼女を助けたのです。彼女は神聖な聖約を交わしており、それを守りたいと思いました。ビショップと一致して働き、召しを果たしました。主を信頼するならば主は祝福してくだ

さるという証を、彼女は持つようになりました。彼女の証にわたしの証を加えます。救い主イエス・キリストは、この世のあらゆる試練、人生で不公平と思えるあらゆることを乗り越えられるよう助けてくださいます。

スティーブンズ姉妹：救い主の贖いの犠牲の力に対する信仰は、わたしたちを一つにする大きな力になります。天の御父に対する愛と、御父の偉大な幸福の計画についての知識は、永遠の命を求めるわたしたちを結びつけてくれます。扶助協会の姉妹には独身の人もいれば、子供のいる既婚者もいますし、子供のいない既婚者もいます。夫を亡くした女性もいれば、離婚した女性もいます。わたしたちの願いは、わたしたち全員が一致して働き、自分の真の姿と業、目的を理解できるようになることです。

リーブズ姉妹：一致は幸福をもたらします。争いがなく、神の愛が心に宿るからです（4 ニーファイ1:15 参照）。一致は、あらゆる境界線を越えます。救い



エリザ・R・スノー、
プリガム・ヤングから、
全教会における扶助協会の設立を監督する
責任に召される。

1860

扶助協会集会用の初のホールをソルト
レーク第15ワード扶助協会が建設す
る。その後50年間に、120以上の
ホールが建設された。



エリザ・R・スノー
1866年

1868

1870

ユタの女性、
アメリカ合衆国内
で初めて
参政権を得た
女性の中に
数えられる。

1872



1880



主へのそのような愛を扶助協会の姉妹に感じてほしいと、
わたしたちはどれほど強く思っていることでしょうか。一つ
になって救い主の目的を成し遂げることを、わたしたちはど
れほど望んでいることでしょうか。

2. 女性が扶助協会の一員だと感じていない場合はどうし たらよいでしょうか。

スティーブンズ姉妹：会長会としてわたしたちが心
から願うのは、姉妹が自分の永遠の行く末を理解
することです。わたしたちは常に神の業の
一端を担っています。女性として、すべての
人に恩恵をもたらす特別な賜物^{たまもの}を与えられ
ています。自分がどのような業をすることにな
るかを前世で教えられ、そのための訓練
を受けました。天の御父の計画を選んだあ
の天上の大会議に出席していたのです。そ
の計画にはイエス・キリストの贖罪が含まれ
ていました。現世で肉体を得られることを
知って、わたしたちは喜び呼ばわれました。

地上で女性^{たち}は、母なるエバをはじめとし
て、神の業の一端を引き続き担います。預
言者ジョセフ・スミスは1842年にイリノイ
州ノーブーで扶助協会を組織しました。常
に存在していた神権の規範に従って、女性



中央扶助協会会長
ジーナ・D・H・ヤングの指揮下で
デゼルトシルク協会が設立される。

初等協会の
組織が
発足する。

1875



1876

エメルン・B・
ウェルズ、
新しい穀物貯蔵
プログラムを
率いる。

1878



1880

第2代
中央扶助協会
会長が
任命される。

最も長く続いた

扶助協会の財政支援事業は、穀物貯蔵プログラム（1876－1918年）です。国内で小麦粉が不足した第一次世界大戦の終盤、合衆国政府から要請を受けて断れず、小麦を売却しました。この小麦を売って得た収益は、妊産婦と乳児の死亡率を下げるために使われ、妊婦や乳幼児のための医院の基金となり、衛生教育クラスの使用を賄い、出産に必要な品々のまとめ買いに使われました。

を組織したのです。

十二使徒定員会会長のラッセル・M・ネルソン会長は、わたしたちにこう勧告しています。「自分がほんとうは何者かを自分で知ることです。自分と、自分がこの地上で果たすべき使命について天の御父がどう感じておられるかを、イエス・キリストの御名により天の御父に尋ねてください。熱心に尋ねるならば、やがて聖霊は人生を変える真理をささやいてくださるでしょう。その印象を書き留め、繰り返し確認し、そのとおりに行ってください。

天の御父がどのように自分を御覧になっているか、またあなたが天の御父のために何をするよう望んでおられるかを垣間見ることができれば、あなたの人生はきっと変わると約束します。」⁵ 神殿に行って耳を傾けましょう。自分が何者なのか、何をするようになるのかを知るために、耳を傾けてください。

3. ひどく忙しい生活をしている女性でも扶助協会の祝福を味わうことができるでしょうか。

スティーブンズ姉妹：結局は、優先順位な

のです。わたしは最近、西アフリカにしばらくいましたが、そこで、毎日井戸から水をくんで頭に載せて運び、その後で家族を養うために仕事に出かける女性たちを見ました。その貧しさに打ちのめされたこともあります。でも、わたしが出席した訓練集会には、真っ白なワイシャツの男性と、手作りの色鮮やかなワンピースを着た女性たちが来ていたのです。

彼らがお金で買えな



扶助協会が
デゼルト病院を
設立する。

1882



「扶助協会……が初めて組織されたのは、半世紀近く前のことです。これが組織されたのは、貧しい人や困っている人に物資を提供し、弱い者を励まし、道を踏み誤っている人を引き戻し、助け合いの精神を伸ばし、思いやりと慈愛の精神を働かせて、霊的な強さと力を得て、人類家族の贖いの業においてさらに良いことを成し遂げられるようにするためです。」⁸ —— ジーナ・D・H・ヤング

1887

扶助協会の女性、1889年に、婦人参政権獲得を目指す組織のユタ支部とアイダホ支部を立ち上げる。⁷



ジーナ・D・H・ヤング
1888年

1889

ジーナ・D・H・ヤング会長、扶助協会初の総大会を計画。

1890

1891

扶助協会は、アメリカ合衆国の全国女性協議会の創立時の会員だった。



いものを豊かに持っていることを教えられました。彼らが最も大切なものを第一にしていることを、わたしは知りました。彼らにとっては福音がすべてなのです。彼らはわたしにこう言いました。「わたしは何も要りません。必要なものはすべてあります。福音と家族があるのです。」最も大切なものを第一にするならば、ほかのものは自然に生活の中からなくなっていきます。

4. 扶助協会が若い女性に提供しなければならないものは何でしょうか。

バートン姉妹：若い女性は、成長して扶助協会に入ったときに、預言の成就を助ける機会にあずかります。1979年にスペンサー・W・キンボール大管長（1895 – 1985年）は、全世界の善良な女性が「大勢教会に引き寄せられ……るでしょう。これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちが……世の中の女性と良い意味で区別され、異なって見られるかによって決まるでしょう」⁶と預言しました。この預言を成就させるためには、若い女性が携えてくる独特な賜物や物の見方、才



伝道を行う宣教師として
奉仕するよう
独身の姉妹として
初めて任命された人たち。



『扶助協会誌』には、
説教および靈性を高める創作や詩、
毎月のレッスン計画などの情報が掲載された。

1896

ユタ準州が
州に昇格。

1898



1900

1902

歴史と説教、
指示を載せた
扶助協会初の
手引きが
出版される。



バスビバ・W・
スミス
1901年

初代編集者
スーサ・ヤング・
ゲイツ。



1914

『扶助協会誌』
(Relief Society
Magazine) 発刊。
『ウーマンズ・
エクスポーネント』
が廃刊になる。

エメルバ・B・
ウェルズ
1910年



社会福祉

部が、1918年に、教会の大管長であるジョセフ・F・スミス(1838－1918年)の要請を受けてエイミー・ブラウン・ライマンによって設立されました。ライマン姉妹はまた、扶助協会の会員に社会福祉事業の専門的手法の訓練を施すコースも組織しました。大恐慌の初期の数年間、社会福祉部は膨大な数の問題を取り扱い、地元自治体と連邦政府双方の役人と調整して、困っている人たちに援助物資を配付しました。

能が必要です。

キンボール大管長のこの預言について、ラッセル・M・ネルソン会長は2015年に、若い女性を含む教会のあらゆる年代の姉妹にこう言いました。「皆さんこそ、彼〔キンボール大管長〕が予見した女性たちなのです!……

……キリストの教義を根本から理解している女性……が必要なのです。神が聖約を守る人に提供しておられる力にアクセスする方法を知っている女性……が必要なのです。……母なるエバの勇気とビジョンを持った女性が必要なのです。

キンボール大管長の預言を成就するよう、皆さんに懇願します。……皆さんがそうするとき、聖霊が皆さんの影響力をこれまでになかったほど強めてくださいます。」⁹

リーブズ姉妹：わたしたちは皆、「天父の娘です。天父はわたしたちを愛し、わたしたちも天父を愛しています。」¹⁰ 扶助協会では、相違点よりも共通点が多いことに気づきます。例えば、わたしたちはソーシャルメディアや宣伝、この世的な人がまねたくなるような人物に囲まれています。女性の価

値が、世の中によって決められています。世の中で見聞きすることと比べて、自分もこうならなければと感じるかもしれません。現代は、世の中が描く理想像から導き出す価値観ではなく、神の娘だということから生まれる価値観を皆が心に留める必要性が、かつてないほど高まっています。わたしたちの強さの源は、天の御父と救い主との関係、福音における姉妹同士の関係です。それに頼ってください。

ステーブズ姉妹：若い女性の皆さん、神は皆さんを必要としておられます。わたしたちにも皆さんが必要です。皆さんは、この末日の試練に立ち向かう強さを持って生まれてきた新しい世代です。わたしたちと一緒に、イエス・キリストとその贖罪を理解する女性、神聖な聖約を交わして守る女性、姉妹とも神権指導者とも一致して働く女性になってください。どんな年齢の女性でも、今日、末日聖徒イエス・キリスト教会の一員であることは祝福です。わたしたちがどんな存在か、これからどんな存在になるかについて、証し合いましょう。喜びのメッ

教会社会福祉部は、現在のLDSファミリーサービスおよびLDS人道支援サービスの前身である。

1936年に教会福祉プログラムが創設される。

衣類や食料、包帯、北米とヨーロッパの姉妹が作成した数千ものキルトが送られ、戦後のヨーロッパの姉妹たちの助けとなる。

1918

扶助協会の小麦、アメリカ合衆国政府に売却される。

1921

扶助協会は乳幼児と妊婦の死亡率低下に重点的に取り組む。



クラリッサ・S・ウィリアムズ
1921年

1921年に成立したシェパード・タウンナー法の恩恵にユタ州があずかるために、エイミー・ブラウン・ライマンは1923年の州下院議員選挙に立候補し、当選する。シェパード・タウンナー法の目的は、妊産婦と乳児の死亡率を下げることであった。ライマン姉妹は政府と扶助協会プログラムの協調を促した。この活動は実を結び、1928年までに乳幼児の死亡率は19パーセント、妊婦の死亡率は8パーセント下がる。

1930



1936



1940

扶助協会の会員、被災者支援に乗り出す。

エイミー・B・ライマン
1940年

ルイズ・Y・ロビンソン
1928年

セージを伝え合って、喜び合おうではありませんか。

5. 神権者と扶助協会の姉妹が一致協力して働くことが大切なのはなぜですか。

バートン姉妹：男性の役割と女性の役割は、互いに補い合うものです。わたしたちはそれぞれほかの人にはない賜物や才能を持っていて、王国の業に貢献し、強め合うのです。女性は主の倉の半分を占めており、この業に欠かすことができません。わたしたちはエバに始まり、サラやリベカ、エステル、マリヤ、エリサベツ、エマ、エライザ、そのほかこの最後の神権時代と古代の勇敢な女性に受け継がれてきた物の見方と望みを持っています。

力と影響力について考えると、力は普通、神権の力と結びついています。しかし、義にかなった一人の女性の影響力にも、とてつもない力があります。教義と聖約第121章41節に記されている神権の力を発揮するための徳、つまり、「説得」「寛容」「温厚と柔和」「偽りのない愛」は、女性の影響力を発揮するための徳でもあります。この徳はわたしたちの持つ神の特性に生来備わっており、強力な方法で良い影響を及ぼす機会がそこにあるのです。

神権を待つ兄弟たちとともに働くことによ



ブリティッシュコロンビア州キンバリーの
6人の扶助協会会員は、ダンスを計画して
資金を集め、ソルトレーク・シティー扶助
協会ビルの建設資金に充てる。

新しい扶助協会ビルは1956年に奉献され、管理会ならびに中央会長会、
『扶助協会誌』の編集者、神殿の衣装を作成する縫い子が活動し集会を開く
場が確保できるようになった。

1949

日本初の
扶助協会が
組織される。

ベル・S・
スパフォード
1945年



1956



扶助協会記念の絵皿の写真。
教会歴史博物館の厚意により掲載



扶助協会ビルのオープンハウス。

1960



中央扶助協会 会長

のベル・S・スパフォードは、その長い任期の間に扶助協会と教会のほかの補助組織をより大きな教会コーディネーションプロセスに組み入れました。重複する作業をなくし、無駄を減らし、全世界で急速に発展する教会に安定をもたらすためです。変更には、教会機関誌の再組織と、補助組織ごとに独立して持っていた銀行口座の廃止が含まれていました。

り、わたしたちは少しずつシオンの民のようになっていきます（モーセ7：18 参照）。

リーブズ姉妹：「家族—世界への宣言」を読むと、天の御父は男女それぞれの役割と責任に応じて男性と女性の力をお使いになり、御自分の子供たちができるかぎり多くみもとに帰れるようにしておられることが分かります。¹¹ 扶助協会の目的は、わたしたちがそれを行うための助けになります。

6. 中央会長会は、どのような形で預言者とともに働いているのですか。

バートン姉妹：イエス・キリストが当時の女性を擁護されたのと同様に、キリストの現代の使徒たちも、今日の女性の擁護者です。教会の預言者たちは評議の過程で常に教会の姉妹たちに意見や考えを求めてきます。わたしたちが預言者、聖見者、啓示者との交流で常に経験していることを、教会のすべての姉妹に見聞きしてもらい、感じてほしいと思います。預言者たちはまことの弟子です。無私の心で喜んで人生を主にささげて主の御心を行おうと努めており、主のなさることに時はあると信じています。この教会はイエス・キリス

トのものであり、イエスが指導し、導いておられるのだと、度々証しています。

リーブズ姉妹：わたしたちは教会指導者とよく交流しますが、彼らがわたしたちに意見を求めることが次第に多くなってきています。このような評議会で幹部の兄弟たちは、わたしたちの言葉に耳を傾け、わたしたちの意見を大切にしてくれます。このようにしてともに共通の目的に向かって働くのです。

スティーブンズ姉妹：大管長会と十二使徒定員会は、イエス・キリストの特別な証人です。彼らはイエス・キリストを知っています。イエスのようになりつつあります。ですから、女性の指導者がこのイエス・キリストの証人たちとどのような関係にあるのかを理解したいのであれば、聖典で、イエスの模範を見てください。イエス・キリストは女性を擁護し、女性の幸せを思い、女性を大切になさいました。幹部の兄弟たちとの評議会で、兄弟たちを見てこう思ったことが何度もあります。「今わたしは、救い主の御前で感じるような気持ちをほんの少し感じているのではないかしら。」

ベル・S・スバッフオード、
中央扶助協会会長在任中に
全国女性協議会の会長に任命される。



中央会長バーバラ・B・スミスは、
800万リットル近くの扶助協会の小麦（165万1,157米ドル相当）と75万
米ドル超の資産を表す集計表を大管長会に提出する。



1966

スペイン語版
『扶助協会誌』
発刊。

1968



1970

『扶助協会誌』
最終号が
発行される。

機関誌『エンサイン』
(Ensign) が
1971年1月に創刊。

18歳以上の女性教会員は
全員、自動的に扶助協会の
会員となる。

1978

女性の伝統的な役割に疑問が投げか
けられるようになったため、扶助協
会の指導者は、女性が家庭と社会で貢
献することの大切さを主張。

1980

1982

扶助協会
140周年
記念。

『女性への賛辞』というテーマの下で、
扶助協会と若い女性、
初等協会共催の行事が行われる。

バーバラ・B・スミス
1974年



バーバラ・W・ワインダー
1984年



7. 霊的な力と、わたしたちが交わす聖約には、どんな関係があるのでしょうか。

スティーブンズ姉妹：霊的な力は、わたしたちが受ける儀式と交わす聖約から生まれます。また、交わした聖約を守ることによって得られる霊的な力もあります。

霊的な力は、日曜日にふさわしい状態で聖餐^{せいさん}にあずかることによって受けることができます。これは、主と交わした聖約をすべて更新できる時です。わたしたちは御子の御名を受け、「御子を覚え」、御子の戒めを守り、いつも「御子の御霊を受けられるように」努力します（教義と聖約 20：77，79）。

バートン姉妹：この霊的な力について、ニーファイはこう言っています。「わたしニーファイは、神の小羊の力が、……小羊の教会の聖徒たち……のうえに下るのを見た。」（1ニーファイ 14：14）この聖徒たちという言葉には男性も女性も含まれるのではないのでしょうか。

ニーファイは同じ節で、神の小羊の力は「地の全面に散っている……主の聖約の民のうえに〔下った。〕彼らは義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装していた」と言っています。わたしたちは「聖約の民」として、男性も女性も「義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装」することができます。これは、聖約を守る者である神のすべての子供たちの神聖な行く末なのです。

スティーブンズ姉妹：わたしたちの神聖な行く末がどの程





扶助協会が率先して「福音の読み書き運動」を行い、読み書きのできない教会員に基本的な読み書きの技術を教える。

扶助協会がコンボ難民のために3万点のキルトの寄付を呼びかけたところ、35万点のキルトが集まる。



1992

扶助協会
150周年
記念。

中央扶助協会会長
イレイン・L・ジャック、
地域での奉仕や
その他のプロジェクトを通して
祝うよう
全世界の扶助協会に
要請する。

写真/ジェイン・
スウェンセン、
DESERET NEWS

イレイン・L・ジャック
1990年



1999

中央扶助協会会長
メアリー・エレン・
W・スムートが
イタリア・ローマで
開かれた
第2回
世界家族会議で
演説する。

メアリー・エレン・W・スムート
1997年



ボニー・D・
パーキン
2002年



メアリー・エレン・
スムートの演説
スチュアート・ジョンソン、
DESERET NEWS

今日、

過去175年にわたる忠実な扶助協会の姉妹たちの指導力のおかげで、世界中の扶助協会が、困っている人々を支援しています。例えば、ベネズエラ、カラカスの扶助協会の指導者は、姉妹たちの奉仕の道を模索していました。そして、老人ホームを訪問すると、女性たちが何の衣服も身に着けずに床の上で丸くなって寝ている部屋を見せられたのです。扶助協会の姉妹たちは泣きながらこの女性たちに入浴させ、服を着せ、髪の毛を切っていました。

度まで理解できているかは、次の二つの質問で分かります。(1) 自分がどのような存在なのか分かりますか。(2) 自分には何があるかが分かりますか。自分に何があるか理解している人は、必要なものがすべてであることを理解することでしょう。神殿で受ける儀式や交わす聖約を通して、わたしたちは祝福と力、神権にかかわるあらゆるものの権能を受けます。わたしたち女性は聖任されません。その理由は分かりません。神権はアダムとエバの時代から、神の規範として父から息子に聖任されてきました。

リーブズ姉妹：みもとに帰るために必要なものはすべて、聖約を交わして守ることで神が与えてくださっていることが、聖約を守る女性には分かっています。その証が、わたしにはあります。

8. 扶助協会の姉妹に覚えておいてほしい最も大切なことは何ですか。

バートン姉妹：教義と聖約第45章3節にこうあります。「父に対する弁護者であって、父の前であなたがたのために弁じる者の言葉を聴きなさい。

『そのために、父よ、わたしの名を信じるこれらわたしの兄弟たちが、わたしのもとに来て永遠の命を得られるように、彼らをお救いください』と。」(5節) わたしは、キリストのわたしたちに対する優しさが大好きです。キリストはわたしたちを愛しておられるので、罪を弁護してくださいます。わたしたちがみもとに来ることを望んでおられます。イエス・キリストと天の御父を愛し、^{おふたかた}御二人を信じる信仰を深めようではありませんか。

今日、地の全面に散らされている神の聖約の娘として、わたしたちは義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装しています。扶助協会の目的を覚え、交わした聖約を守ることを喜びとするならば、わたしたちは「世の中の女性と良い意味で区別され、異なっ」て見られ、救い主イエス・キリストが再び来られるときのために世を備える助けができるのです。■



2004

女性のための
補助組織を
対象とした
第1回世界指導者
訓練集会。



ジュリー・B・ベック
2007年

2010年10月の総大会で、
扶助協会の歴史を記した新たな書籍の刊行を、
中央扶助協会会長ジュリー・B・ベックが発表する。

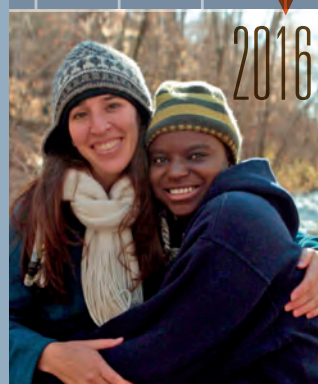


2010

「扶助協会の歴史を研究し応用すると、
救い主イエス・キリストの弟子である
わたしたちが何者であるかが分かり、
明らかになります。」¹²
——ジュリー・B・ベック

2011

『わたしの王国の娘
——扶助協会の
歴史と業』が
教会から
刊行される。



リンダ・K・バートン
2012年



2016

2017



扶助協会
175周年記念。

2020

扶助協会の歴史について
さらに詳しくは、history.lds.org/women をご覧ください。



注

1. エマ・スミスの言葉。Relief Society Minute Book, 1842年3月17日付, 13で引用, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティ
2. ジョセフ・スミスの言葉。Relief Society Minute Book, 1842年6月9日付, 63で引用
3. 『手引き 第2部——教会の管理運営』9.1.1 参照
4. 『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』224
5. ラッセル・M・ネルソン「本物のミレニアル世代として立つ」『リアホナ』2016年10月号, 49
6. 『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』224
7. ジル・マルベイ・ダー, ジャナス・ラッセル・キャンノン, モーリーン・アーゼンバッハ・ビーチャー 共著, *Women of Covenant: The Story of Relief Society* (1992年), 138 参照
8. ジーナ・D・H・ヤング "First General Conference of the Relief Society", *Women's Exponent*, 1889年4月15日付, 172
9. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号, 96, 97
10. 小冊子『若い女性——成長するわたし』3
11. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129 参照
12. ジュリー・B・ベック『わたしの王国の娘』——扶助協会の歴史と業『リアホナ』2010年11月号, 114

このインタビューは、教会機関誌のラリーン・ポーター・ガーントが行いました。年表および補足記事の情報／教会歴史部 ケイト・ホルブルック

扶助協会の目的

扶助協会は、女性が以下の事柄を行うことによって、永遠の命の祝福に備えられるようになります。

- 天の御父とイエス・キリストと主の贖罪を信じる信仰を深める。
- 儀式と聖約を通して個人と家族、家庭を強める。
- 困っている人を助けるために一致して働く。

父は必死に宣教師のレッスンを
やめさせようとしたが、
セルマはそれに倍する決意で福音について
学び続けました。



忠実な姉に 恵まれて

姉の義にかなった影響がなかったら、
今の自分はいなかったかもしれません。

ラファエル・アンティロン

幸運なことに、わたしは生涯にわたって善い女性に恵まれてきました。面倒見がよく勇気ある母、賢く忠実な姉たち、そして愛をもっていつも支えてくれる妻です。わたしは、このような影響力のある女性の一である姉のセルマに敬意を表したいと思います。姉は、絶えず良い模範を示すことでわたしの人生に影響を与え続けてきました。

わたしがまだ小さかったとき、父からはこう教えられたものです。両親がいないときはセルマのするとおりにしなさい。この教えに感謝してもし切れません。

確固たる決意で学ぶ

8人のきょうだいのうち、3人が、わたしと同じ日にエルサルバドルで教会に入りました。わたしたちがバプテスマを受けたとき、セルマは14歳できょうだいの中で最年長でした。当時わたしは8歳で、末っ子でしたから、セルマがわたしたちのリーダーでした。

教会を紹介してくれたのは、わたしたちの隣人でした。よく歌を歌っていたのですが、後に、それが賛美歌だったことを知りました。その隣人は初等協会という素晴らしい場所があって、そこに行ったら子供は歌を教えてもらえると教えてくれたのです。連絡を受けた宣教師が訪ねて来て、福音のレッスンを教え始めました。

しかし、父は教会のことも、自分の子供たちが宣教師から教わることも非常に嫌っていました。まだ小さかったわたし

には、当時来ていた二人の長老がわたしたちに福音を伝えるためにどんな苦勞をしたのか、まったく分かっていませんでした。父は宣教師が家にいるのを見つけると、その度に彼らを追い出し、夜に宣教師が訪ねて来るとわざと家の電気を消したものです。父は必死で宣教師のレッスンをやめさせようとしたのですが、セルマはそれに倍する決意で福音について学び、モルモン書を読み続けました。セルマも長老たちも決して諦めませんでした。そのことに、わたしは今でも感謝しています。

教会に行くのは一苦勞でした。父が毎回手を変え品を変え、様々な手を使って行かせまいとしたからです。その日の家事の手伝いを全部終えてからでなければ教会に行ってはならないと言われたこともありました。

ある日曜日の朝は特に大変でした。父はわたしたちを行かせまいとし、わたしたちは断固としてそれに抵抗しました。父がゴミ箱を蹴飛ばし、中身がわたしたちが掃除したばかりの床に散らばりました。セルマは不平も言わず、無言でゴミを拾い始めました。床をもう一度きれいに掃除し直してから、セルマは、教会に行ってもいいかと尋ねました。わたしたちが決められた以上の手伝いを終えたのに、父は教会に行く許可をくれようとはしませんでした。とうとう、父は正面きってこう尋ねました。「おまえたちは、一体どうしてこの教会に行くと言い張るんだ。」するとセルマが、福音と福音の回復のメッセージが真実であると力強く証を述べました。彼女が話し終えると、父は行けとばかりに手を振って、教会に

行くことを許可してくれたのでした。

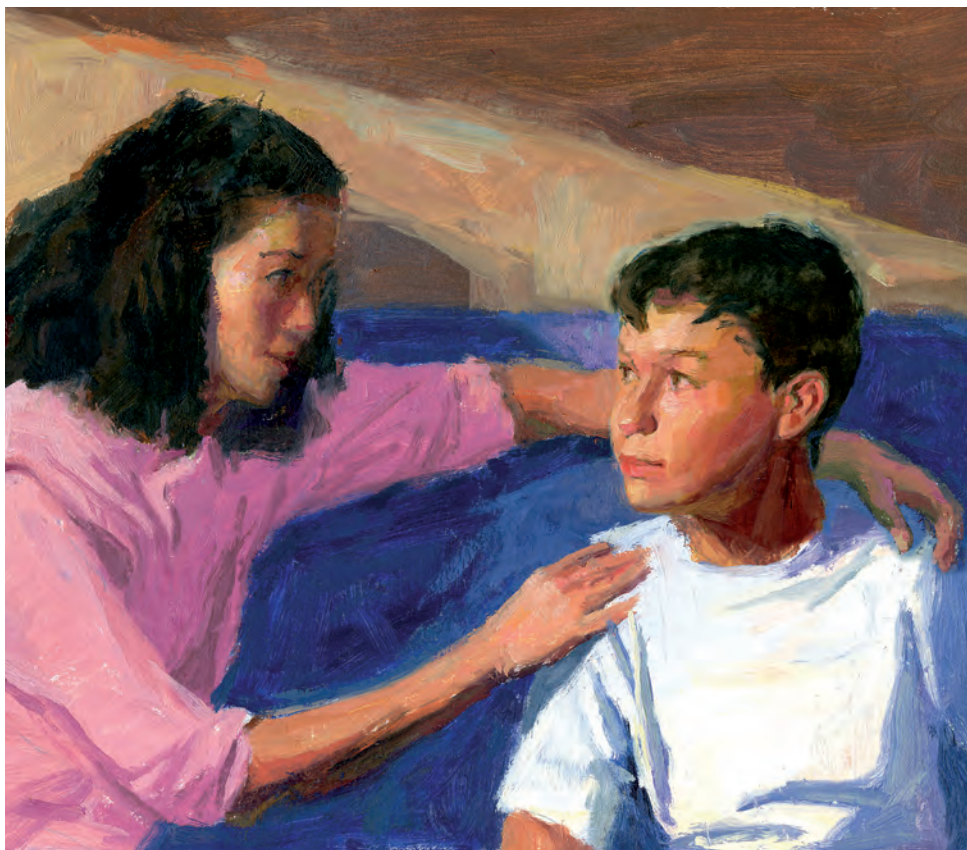
この出来事があってから、父は二度とわたしたちを止めようとしませんでした。そして、気が進まないながらも、最終的に、わたしたちが教会に入ることを許可してくれたのです。

始めから仕える

わたしにとって日曜日に教会に行くのは何の問題ありませんでしたが、初等協会への出席については、あまり熱心ではありませんでした。それは当時、初等協会が土曜の朝に行われていたからです。わたしが10歳のころの、ある土曜日のことです。セルマは家に戻ると、執事定員会対ブレーザースカウト（11歳のスカウト）の楽しいサッカーの試合があったことをわたしやほかのきょうだいに話して聞かせました。そしてわたしに向かってこう言ったのです。「初等協会に行っていたら試合に出られたのに残念だったわね。」言うまでもなく、わたしは次の土曜日には（サッカーシューズを履いて）初等協会に出かけ、二度と休むことはありませんでした。

セルマは16歳のとき、初等協会会長に召されました。当時初等協会は様々な問題を抱えていて、ビショップはそれに対処できる人を探していました。ワードの地域が広く、小さな子供を抱えた多くの家族にとって、初等協会のある土曜日と日曜日の両日バスで通うのはお金がかかって難しかったのです。そんな子供たちの多くが初等協会に出席しておらず、解決策は見つからないままでした。ビショップはセルマを召すよう御霊の促しを感じていましたが、彼女の年齢を考え、踏み切れずにいました。御霊の促しは続き、ビショップはステーク会長の承認を得たうえでセルマを初等協会会長に召しました。

やがてそれは靈感を受けた決断だったということが分かり、わたしを含む多くの子供たちに祝福をもたらしました。セルマは靈感に従い、常識を使って、画期的なアイデアを実行に移して、その召しを尊び大いなるものとししました。福音を子供たちのもとに届けるための訓練プログラムを作ったのです。まず顧問や教師たちに自分の家の近くにある数か所



で初等協会を開くように依頼しました。そして、教師たちには継続的に訓練を行いました。この解決策のおかげで、会員たちの時間と出費が抑えられ、初等協会に出席していなかった子供たちがこのすばらしい組織の祝福を受けることができるようになったのです。

信仰の模範を示す

時がたっても、わたしときょうだいたちはセルマの指導に従い続けました。わたしたちは家庭の夕べを開き、教会のすべての集会に出席しました。わたしが執事に聖任されて間もなく、家庭の夕べのとき、セルマがわたしの方を向いて、家族の中の神権者だと紹介してくれました。この出来事を通じ、神権を敬うことについて貴重な教訓を学びました。

セルマはまた、わたしが神権会に出席し、責任を果たせるように、いつも励まし、やる気を起こさせてくれました。例えば、日曜の朝には騒々しくてエネルギッシュな方法を次々に駆使して、わたしを起こしてくれました。そのために、神権会を欠席することはありませんでした。また、アロン神権の昇進を楽しみにするよう教えてくれました。

ミューチャルやセミナリーではいつも「セルマの弟」と呼ばれましたが、気になりませんでした。友達の中には教会員である両親のサポートがある人もいましたが、わたしにはビショップと若い男性指導者とセルマがいました。

わたしが小さかったとき、
セルマは初等協会やほかの教会の活動に出席するように励ましてくれました。
何年たっても、彼女の模範と福音に対する熱意はいつも、
わたしの霊感の源となっています。

セルマは伝道に出るまで様々な召しを果たし、わたしの模範であり続けました。グアテマラ・ケツアルテナンゴ伝道部で奉仕して名誉の帰還を果たしたセルマにとって、帰還して2日後に行われた母のバプテスマもその働きの成果の一つでした。当時祭司だったわたしがこの神聖な儀式を執行したとき、わたしたちはこの上ない喜びを感じました。セルマの模範に従い、わたしは伝道に出る準備を熱心に始めました。

セルマは伝道後、家族の経済状態が悪かったにもかかわらず、ブリガム・ヤング大学に入学するためアメリカに引っ越しました。遠く離れても、彼女の影響をいつも強く感じていました。

わたし自身も、グアテマラ・グアテマラシティー伝道部での奉仕から帰還すると、ブリガム・ヤング大学に入学するためにユタ州プロボに移りました。多くの人の善意と支援のおかげでブリガム・ヤング大学に留学することができたことに感謝しました。しかし、それでもお金は不足していました。

プロボに着いてすぐ、セルマと二人で財政状態を見直してみました。その結果、たとえわたしがアルバイトをしたとしても、その年度の二人分の家賃が払えないことが分かりました。けれども、セルマはその試練を克服できると信じて疑いませんでした。主が道を備えてくださると信じていたのです。それから1週間もたたないうちに、大学のスペイン語学科からセルマに手紙が届きました。封筒を開けると、わたしの方を向いて叫びました。「これよ！これであなたの家賃が払えるわ！」手紙は、セルマが補助教員として採用されたことを伝えるものでした。それは彼女の収入が増えるということの意味していたのです。

健康上の問題に対処する

何年たっても、セルマはずっと霊感の源となっています。彼女ほど逆境にうまく対処できる人を、わたしは知りません。ダウン症を抱えたすばらしい息子と年老いた母の世話だけでなく、深刻な健康状態にある夫の介護もしています。そればかりか、彼女自身も健康上の問題を抱えています。

数年前、セルマは脳内嚢胞^{のうほう}によって上がってしまった脳圧を下げるための手術を受けました。彼女の助けを必要としている家族のことを考えると、どんなわずかな合併症も避けたいところでした。彼女は助けと霊感を求めて祈り、神殿

に参入しました。その間ずっと、彼女の信仰が揺らぐことはありませんでした。ただ、繊細な手術を担当する医師の手に自らの命をゆだねることについては不安を感じていました。ちょうどそのころ、セルマは親しい友人のところを訪れ、手術について不安を感じていることを打ち明けました。セルマの友人は医師の名前を尋ね、その名前を聞くと、その医師が自分のワードの会員だと言いました。セルマに、彼が忠実な教会員で、ふさわしい神権者だということ、そして手術中によく教会の賛美歌を流すことを伝えたのです。わずかな情報でしたが、それはセルマの祈りに対する心優しい答えでした。セルマの生活と霊的な経験は、わたし自身の生活で常に力と証の源となっています。

わたしは自分と似た生い立ちの年若い少年たちのことが心に浮かびます。家庭に模範となる男性がいない子、教会にしか避け所のない子、そして問題を抱えた国で大人になっていく子たちのことが心に浮かびます。そのような子供たちにこう言いたいのです。決して諦めないでください。主と主の僕たちから離れないでください。主がわたしに必要な助けを与え、自分の目標を達成できるよう励ましてくださったことに感謝しています。そのおかげで、今の自分があるのです。■

筆者はアメリカ合衆国ニューヨーク州在住です。



女性の信仰と献身

「今では地球上に何百万にも達している忠実な末日聖徒の女性の皆さんにわたしの感謝を申し上げます。善いことを成し遂げる皆さんの力は大いなるものです。皆さんの才能と献身は驚くべきものであり、皆さんの信仰と、主と主の業への愛、そして

神の息子、娘への愛はこの上なく大きいものです。福音に従った生活を続け、すべての友人に信仰を表してください。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）
『歴代大管長の教え——ゴードン・B・ヒンクレー』104





十二使徒定員会
クエンティン・
L・クック長老

福音と 豊かな生活

ほかのすべてのものが崩れてしまう最悪の状況の中で、
家族とイエス・キリストの福音は欠かせません。

多くの人が、夢と情熱を追い求めることは大切だと語ります。確かにそのような目標は大切です。しかし、皆さんの人生にはさらに大いなる目的があることを考えていただきたいと思います。

祝福に感謝する

まず、皆さんが受けている祝福、とりわけ皆さんの受け継ぎに感謝していただきたいと思います。感謝と謙虚さは密接に関連し合っています。わたしたちは自己中心的な人が多い時代に生きています。ソーシャルメディアは、特に自己宣伝によく利用されます。現代ほど感謝し謙虚であることが大切な時代はありません。これらの特質を備えている人々は、救い主の模範に従うときに与えられる祝福に感謝します。

わたしの友人であり、教会の忠実な会員であるハーバード大学のロジャー・B・ポーター教授は、2015年5月にハーバード大学の卒業式で次のように述べました。感謝の気持ちを抱くには「ほかの人々に恩を受けていることを認識する必要があります。それにはしばしば、労せずを得た贈り物や過分な贈り物を謙虚に受け取ることも含まれます。」最後にこう述べています。「皆さんが感謝を人生の重要な一要素として選択するならば、それは皆さんに良い結果をもたらすことでしょう。それは、高慢に屈して権利意識を持つという誘惑をはねのけるのに役立つでしょう。善に目を向け、肯定的なものを受け入れるのに役立つでしょう。人生行路の試練や時折遭遇する逆境を理解するのに役立つでしょう。皆さんほどには恵まれていないけれど、皆さんを通して人生に祝福を受けることのできる人々に関心を向けるのに役立つことでしょう。」¹



中国の古いことわざにこうあります。
「水を飲むときには、
井戸を掘ってくれた人のことを
忘れてはならない。」

ここで申し上げたいことがあります。わたしたちは自らの受け継ぎに特に感謝する必要があります。善い両親に恵まれているならば、そのことに感謝するべきです。これこそ、わたしたち一人一人が自らの受け継ぎに対してなすべきことなのです。中国の古いことわざにこうあります。「水を飲むときには、井戸を

掘ってくれた人のことを忘れてはならない。」

親を敬わなければならないことは聖文からも明かです。箴言にこうあります。「わが子よ、あなたの父の戒めを守り、あなたの母の教を捨てるな。」(箴言 6:20) エペソ人への手紙ではこう教えられています。「あなたの父と母とを敬え。」(エペソ 6:2-3 参照。出エジプト 20:12 も参照) 偉大なドイツの哲学者ゲーテはこう述べています。「先祖から受け継ぎ、ただ借り受けているだけのものを、改めて自分の力で手に入れなさい、まことの所有者となるために。」² わたしたちは親に感謝し、親がわたしたちに与えたいと願っているものを得ようと積極的に行動する必要があることは明かです。

永遠の原則とこの世の哲学

感謝の気持ちを抱くようにお勧めするのに加えて、皆さんが幸せに、望みどおりに有意義な生活を送るのに役立つ、実用的な助言を差し上げたいと思います。そのような生活は、「豊かな生活」とよく言われます。

最近のエッセイの中で、大英帝国ヘブライ信徒連合の前主席ラビであるジョナサン・サックス師は、信仰と倫理観の役割が衰退し、現代生活の意義が失われてきていることについて、わたしの抱いている懸念を一つにまとめて、こう述べています。

「現代世界の大きな組織が怠っていることが一つあるとすれば、それは意義を与えることです。……

科学と技術、自由市場、……民主国家のおかげで、わたしたちはかつてない豊かな知識と自由、平均余命、富を得ることができました。それらは人類の文明における最も大いなる功績であって、擁護し、大切にしなければなりません。

しかし、思索にふけるすべての人がその生涯のいつか抱く、次の3つの疑問に対する答

えは与えていません。『わたしは何者か。』『なぜこの世にいるのか。』『死後の生活はどうなるのか。』その結果、21世紀のわたしたちには、最大限の選択の機会と最小限の意義ある機会が残されたのです。』³

この引用文は、わたしのメッセージの本質を簡潔な美しい言葉で表現しています。イエス・キリストの生涯と教えを基とする豊かな生活よりも、今は世俗的な目で見た豊かな生活が優先されていることに、わたしは深く憂慮しています。

教会員であるわたしたちにとって、イエス・キリストの福音と復活と贖罪は、必要不可欠なすべてのものの基盤です。そして、それらはこの世の生活に意義をもたらします。救い主は信仰を鼓舞し、何が道徳的で、義にかなう、望ましいかについて行動の基準を確立されました。その結果が豊かな生活をもたらしています。ところが、救い主が教えられた原則と基本的な道徳的規範は、今日の世界において、激しい攻撃を受けています。キリスト教自体が攻撃を受けているのです。

これは初めてのことでありません。豊かな生活を送る秘訣については、何世紀にもわたって論じられてきました。使徒パウロは、アテネを訪れた際に、「エピクロス派やストア派の哲学者」と議論を戦わせました（使徒 17:18）。ストア派の人々が最高の善と信じていたのは徳であり、一方、エピクロス派の人々が最高の善と信じていたのは快楽でした。ストア派の人々の多くは高慢になり、哲学を「野心と不道徳……の隠れみの」として使っていました。エピクロス派の人々の多くは快楽主義者となっており、「わたしたちは飲み食いしようではないか。明日は死ぬのだから」という言葉を標語として掲げていました。⁴ 学問の世界では、長い間、アリストテレスの唱えた知的熟考を豊かな生活の青写真と考える人が大勢いました。興味深いことに、初期のキリスト教と対立したこれらと同じこの世の哲学の多くが、少し違った形で今日も依然として存在しています。

さらに、現在、多くの新たな哲学がイエス・キリストの福音と直接に対峙するものとして存在しているのです。このことが急に起こったのです。モルモン書の言葉を借りれば「わずかな年数で」（ヒラマン 7:6）、世の多くの人々が、今や「悪を善と呼び、善を悪」と呼んでいます（2 ニーフアイ 15:20）。実に、これら二つの聖句は、わたしたちの時代に起こっている事柄を示しています。道徳に対する見方が急に

変わりました。豊かな生活の基である道徳的な行為から離れた、信じ難い動きが起っています。キリスト教では幸福は現世で得られるものではなく、天でのみ得られるものであるという根拠のない説を受け入れて、キリスト教をおとしめている人々がいます。⁵ わたしは断言します。救い主に従えば、現世で、そして天で幸福を得られます。

追悼文の徳と履歴書の徳

チャレンジの中には善と悪だけで言い切れないものがあります。何が善かだけでなく、何が最善かで選択をする必要のあることがあるのです。⁶

デビッド・ブルックスは、「道徳的なバケツリスト」（The Moral Bucket List、訳注——「バケツリスト」とは、一生のうちに行ってみたい事柄をリストにしたもの）と題する記事の中で、「2組の徳、すなわち、履歴書の徳と追悼文の徳」があると述べています。「履歴書の徳は実業界で使える技能であり、追悼文の徳とは、葬儀で語られる徳です。」⁷ そして



ブルックスは、追悼文の徳の方がはるかに重要であると結論づけています。わたしはそのとおりだと思いました。なぜなら、わたしに大きな影響を与えた20代半ばでの経験があったからです。それは二人の善良な男性の葬儀でのことです。ほんの数日違いでの葬儀でした。これは実話ですが、名前は変えており、意図的に事実の一部をぼかしています。

当時、わたしは25歳で、スタンフォード・ロースクールを卒業しており、弁護士事務所で働き始めたばかりでした。多くの物的財産を蓄えてきた高学歴の人々とともに仕事をしました。彼らは優しく、概して親切で魅力的な人々でした。

わたしと交流のあった教会員たちの状況はそれぞれ様々でした。彼らのほとんどは物質的な豊かさとは無縁でしたが、素晴らしい人々で、自分の人生に意義を見いだしていました。このような時期に、わたしが長年知っていた二人の高齢の退職者が亡くなったのです。二人の葬儀は数日違いで行われ、わたしは両方の葬儀に参列しました。二人の男性のうちの一人をリッチ（訳注——「裕福」であることを意味す

る）と呼び、もう一人をフェイスフル（訳注——「忠実」であることを意味する）と呼ぶことにします。その二人の葬儀が印象深く思い出されます。その葬儀を通じて、すべての人、特に若い人が行う選択の重要性が明らかになったからです。また、履歴書の徳と追悼文の徳の区別が複雑であることも示しています。

リッチとフェイスフルは、二人とも若いころに伝道に出ました。だれに聞いても、二人は熱心な宣教師でした。しかし、大学に通った後、彼らの生活は違ったものになり始めました。リッチは美しい女性と結婚し、やがてその女性は教会にあまり活発ではなくなりました。フェイスフルも同じく美しい女性と結婚しましたが、その女性はずっと教会に活発でした。ほかの要因以上に、この決断が基となって、彼らは生涯における残りの決断を下すことになったのでした。わたしの経験では、夫婦が救い主に忠実かつ誠実であり、また家族の永遠の重要性に忠実かつ誠実であり続けるならば、ほとんどの場合、追悼文の徳は保たれます。

リッチについてもう少しお話しします。彼は人と接する能力にたけており、人々にとてもよく気配りをしました。米国のある大企業に就職し、最終的にその会社の社長になりました。高収入を得て、広大な敷地に建てられた大きな美しい家に住みました。わたしが彼を「リッチ」と呼ぶことにしたのはそのためです。彼の職業の選択は、良いもの、あるいはより良いものではなく、最も良いものであったと言ってもよいでしょう。

しかしながら、家族と教会に関する彼の選択はそれほど良くはありませんでした。彼は善良な人であり、自ら悪を行うような選択はしませんでした。しかし、家族に関する彼の選択と子供たちに与えた影響は、そのほとんどが教育と職業、基本的には実業界において高く評価される履歴書の徳に心を向けさせるものでした。息子たちも素晴らしい経歴を持つようになりましたが、教会に活発ではなく、教会員ではない若い女性と結婚しました。わたしは彼の息子たちについてすべての事実を知っているわけではありませんが、いずれも最終的に離婚しました。

リッチと彼の妻も教会に活発ではなくなりました。彼らは主として、人の目を引く社交活動や地域社会の活動に参加しました。彼は常に末日聖徒であることを意識し、伝道に出たことを誇りに思いましたが、教会には出席しませんでした。





時折、教会の建築プロジェクトに献金し、また、末日聖徒の会員が就職できるように助けました。さらに、職場ではいかなる職にあっても常に正直、誠実、善意の影響を及ぼしました。

彼の葬儀は墓地にある無宗派の礼拝堂で執り行われました。彼が住んでいた州の知事を含む、多くの会社の最高幹部と要人たちがその葬儀に参列しました。彼の子供たちと孫たちとわたしを除く参列者の全員が50歳以上でした。その葬儀は全体として、重苦しいものでした。幸福の計画についての基本原則は教えられませんでした。また、イエス・キリストについてもほとんど語られませんでした。リッチの生涯はほぼ履歴書の徳の上でのみ築かれていました。

フェイスフルの職業に関する決断はずっと成功をもたらすものではありませんでした。小規模な自営業での最初の努力はくじかれました。仕事がうまくいかず、すべてのものを失ったのです。その後、小さな会社を設立しましたが、必要な支払いをするのがやっとで

した。それでも、小さいながら世間並みの家がありましたし、仕事や人々との交流を楽しみました。彼の経歴は好ましいものであり、確かに申し分ありませんでしたが、際立ったものでも、最善と呼べるものでもありませんでした。それは履歴書の徳に相当する経歴ではありませんでした。

一方で、彼の家族の選択と教会の選択は、紛れもなく最も良いものでした。彼と妻は二人とも教会にきわめて活発でした。彼は度々教師として召されて奉仕し、頻繁に神殿に参入し、忠実な神権者でした。人々、特に自分の家族や大勢の孫たちとすばらしい関係を築いていました。その全員が高い教育を受けていましたが、彼がおもに強調したのは、キリストのような生活をすることでした。彼は退職すると、夫婦で伝道に出ました。第二次世界大戦で息子が亡くなったことなど数々の試練に直面しましたが、家族とイエス・キリストの福音によって目的と意義が与えられたことで、彼は生涯を通じて満足感と喜びを得たのでした。

ワードの集会所で行われた彼の葬儀は、盛

家族と教会、救い主の証^{あかし}よりも
教育と職業に関する目標を
優先する場合、
履歴書の徳を過度に重視することで
まったく反対の予期しない結果を
招くことがある。



才能や能力、機会、
経済状況のいかんを問わず、
人は皆、最も重要な選択をすることが
できる。

大で、喜びに満ちていました。大勢の孫たちや、彼が仕えてきた若い人々を含め、あらゆる年代の人々が参列しました。幸福の計画についての話があり、救い主を中心とした葬儀が行われました。それは典型的な末日聖徒の葬儀でした。彼の人柄と思いやり、ほかの人に対する気遣い、主イエス・キリストを信じる信仰とその愛について、数々のことが話されました。

選択と豊かな生活

わたしが述べてきたように、これら二つの葬儀がわたしにとって決定的な時期にあったのです。わたしは伝道を経験し、教会を愛していました。仕事に就いたばかりで、この世的にも職業の面でも成功していた人々に感銘を受けていました。わたしは、自分が行っている選択によって現世における幸福を得られ、自分が残す受け継ぎが決まるということを知ったのです。また、自分がこれから行う選択が永遠に大きな影響を及ぼすことも知りました。選択が永遠に大きな影響を及ぼすこ

とは明らかでした。わたしが今述べてきた生涯から気づいた最も重要なことは、才能や能力、機会、経済状況のいかんを問わず、人はだれでも最も重要な選択ができるということでした。わたし自身やわたしの将来の子供たち、わたしが影響を与える機会のあるすべての人にとって、救い主とわたしの家族と教会を第一とすることが必須であるということに気づいたのです。それをすれば、結果として豊かな生活を送れることでしょう。

ほかのすべてのものが崩れてしまう最悪の状況の中で、家族とイエス・キリストの福音は欠かせません。モルモン書に出てくる父リーハイについて考えてみてください。彼がどのような状態で「荒れ野へ出て行った」かが述べられています。「父は自分の家と受け継ぎの地、金や銀、貴重品を後に残して、家族と食糧と天幕のほかは何も持たずに荒れ野へ出て行った。」(1ニーファイ2:4)

この時代には信仰と家族を守るチャレンジがあります。ある研究者は、はるか昔の古代インドとギリシャを回顧し、歴史上宗教を持た

ない民はすべて人口が減少していると述べています。⁸ 報道機関が先だって特集したように、現在は世界の多くの国で出生率が低下しています。『ウォール・ストリート・ジャーナル』(Wall Street Journal)は、一面記事で「世界の新たな人口問題の時限爆弾——人口減少」を採り上げ、2016年には「1950年以降初めて……生産年齢総人口が減少する」と述べています。⁹

信仰の欠如と人口減少は明らかに相互に関連し合っています。御父の子供たちのための永遠の計画は、信仰と家族の両方にかかっています。調査を重ねて分かったことですが、末日聖徒は、主イエス・キリストを信じる信仰を保っており、結婚して子供を持ち続けています。そのことに、わたしは感謝しています。

中には結婚する機会や子供を持つ機会のない人がいます。しかし、義にかなって救い主と救い主の戒めに従う人、また御父の子供たちに無私の奉仕をする人は、「約束されたすべての祝福を永遠という時の中で受ける」ことでしょう。¹⁰

人生の苦難と試練に直面するとき、わたしたちがほとんど、あるいはまったくコントロールできない数多くの出来事が起こります。しかし、原則や日々の行い、宗教上の活動、義にかなった生活についてはコントロールできます。父なる神と御子イエス・キリストを信じ、礼拝するという選択ができます。

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老(1926–2004年)は、18世紀のイギリスの聖職者ウィリアム・ローの言葉を引用して、簡潔にこう述べています。「神の王国を第一に選ばないとしたら、代わりに何を選ぼうと結果的に大した違いはありません。」¹¹

リッチ、またフェイスフルと名付けた人々の実話を紹介しましたが、わたしが、教育や職業に関する目標を持つことにあまり関心がないと言っているわけではないことは理解してください。それどころか、わたしたちはこれら二つの分野において良い成果を得るために行えることをすべて行うべきです。わたしが申し上げているのは、家族と教会、救い主の証^{あかし}よりも教育と職業に関する目標を優先する場合、履歴書の徳を過度に重視することでまったく反対の予期しない結果を招くことがあるということです。

皆さんは次のことを行えば自ら望んでいる喜びと幸福を得られること、そして神が皆さんにそれを望んでおられるこ

とを、わたしは確信しています。

- 受けている祝福、とりわけ受け継ぎに感謝する。
- 人生に意義をもたらす永遠の原則に全力で取り組む。
- 履歴書の徳よりも追悼文の徳を優先しようと決心する。
- 豊かな生活をしてきたことを救い主に報告する用意をする。

わたしたちそれぞれが幕のかなたで持つ最も重要な集いは、「門を守る者」であられる救い主との集いです(2ニーファイ9:41)。先祖がだれであるかを問わず、また自分は裕福か貧しいかにかかわらず、わたしたちは与えられた戒めにどれほど従順であったかを報告することになります。わたしたちは「感謝しつつ、その門に入り、ほめたたえつつ、その大庭に入〔り〕……主に感謝し、そのみ名をほめまつ〔る〕」ことができるような生活をしなければなりません(詩篇100:4)。

わたしたちはほんとうに豊かな生活をしてきたと、喜びに満ちた報告をしたいものです。■

2015年12月18日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校のディボーションalで行われた説教“The Good Life”(『豊かな生活』)から。英語の全文を見るには、web. byui.edu/devotionalsandspeeches にアクセスしてください。

注

1. ロジャー・B・ポーター、卒業式の訓示、ダンスターハウス、ハーバード大学、2015年5月28日
2. ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ、Faust、バイヤード・テラー訳(1912年)、第1部、28
3. ジョナサン・サックス、“How to Defeat Religious Violence,” Wall Street Journal, 2015年10月2日付、C2。ジョナサン・サックス、Not in God’s Name: Confronting Religious Violence (2015年)、13も参照
4. フレデリック・W・ファーラー、The Life and Work of St. Paul (1895年)、304 参照
5. カール・シダーストロム、“The Dangers of Happiness,” New York Times, 2015年7月18日付、8 参照
6. ダリン・H・オークス「良いこと、より良いこと、最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号、104–108 参照
7. デビッド・ブルックス、“Moral Bucket List,” New York Times, 2015年4月11日付、SR1. nytimes.com。デビッド・ブルックス、The Road to Character (2015年)、xi も参照
8. マイケル・ブルーメの言葉、デビッド・ブルックス、“Peace within the Texts,” New York Times, 2015年11月17日付、A23. nytimes.comで引用を参照
9. グレグ・イップ、“The World’s New Population Time Bomb: Too Few People,” Wall Street Journal, 2015年11月24日付、1
10. 『手引き 第2部——教会の管理運営』(2010年) 1.3.3
11. ニール・A・マックスウェル「召しに応じて」『聖徒の道』1974年11月号、525。ウィリアム・ローの言葉、The Quotable Lewis, ウェイン・マーティン・デル、ジェリー・ルート共編(1989年)、172で引用も参照



1989年、マルクスとカレン、そして3歳の息子は東ドイツの自宅を離れて、休暇でハンガリーに出かける許可が下りました。現地に滞在中、ハンガリーはオーストリア側の国境を解放し、東ドイツからの難民に自由への道を開きました。マルクスとカレンは貴重なチャンスが与えられたと思いました。彼らも避難することができるのです。

レスリー・ニルソン、写真撮影

マルクス・ティルグナー

ドイツ、ザクセンアンハルト

わたしは「オーストリアへ行こう」と言いました。

カレンは「いいえ、だめよ」と言いました。「あなたの両親はドイツに残っているし、わたしの両親も同じよ。」

「分かってくれるさ」とわたしは答えました。

「家を建て始めたところよ」とカレンは言いました。「ちゃんと完成させましょう。」

「いや、一からやり直そう。どこか、西ドイツで」とわたしは言いました。

わたしは東ドイツから逃れるべきだ、ともう一度カレンに言おうとしました。彼女はこう言いました。「いいえ、あなたはビショップに召されたばかり。そして、引き受けますって返事をしたのよ。」

このような理由から、わたしたちはドイツを出ませんでした。数週間後、ベルリンの壁が崩壊したので、ドイツに残って正解でした。それが、わたしたちのために天の御父が備えられた道だったのです。

ティルグナー家の他の写真は、lds.org/go/31739 でご覧になれます。
religiousfreedom.lds.org (英語) で、信教の自由の祝福と、それらを守る方法についてさらに学ぶことができます。

家庭訪問、 家族歴史、 母親

わたしは20歳のときに教会に入りました。その後間もなく、同じワードに集っていた男性と結婚し、仕事の都合で引っ越しました。22歳のとき、長男が生まれました。当時、わたしたちはワードの区域ぎりぎりの場所に住んでいたにもかかわらず、訪問教師は定期的に訪問してくれました。

わたしは母親になったばかりで、直感的に自分の母に連絡する必要がある

とは思いましたが、8年前の両親の離婚を機に、母とは音信不通になっていました。訪問教師が訪問したときに毎回そのことについて話し、わたしはこの難しい一歩を踏み出すよう御霊が促しているように感じました。

母は教会員ではないので、親子関係をどう築き直せばよいか、話し合いました。母と会わなくなっている8年の間に、わたしの人生は多くの面で変化していました。御霊の強い促しを受けて、わたしはまず母の母親に連絡することにしました。祖母は目が不自由だったので、彼女にあてた手紙は、彼女の面倒を見ていたおばのところへ送られました。

すばらしい返事をもらい、わたしたち家族は祖母とおばを訪ねました。祖母は驚くとともに喜び、帰るときに自分の娘、つまりわたしの母に会いに行ってほしいとだけ言いました。祖母はとてもうれしそうでした。

彼女はルター派の信者で、救い主を愛していました。祖母の家に滞在している間、夫が毎朝祖母にモルモン書を読み聞かせると、ほんとうに喜びました。数日たつと、夫と祖母は非常に強く御霊を感じて、祖母は机の所へ行き、亡くなった祖父が持っていた家系図の本を取り出して夫に見せました。そこには8世代にわたる先祖が、職業も含めて、丁寧に書かれていました。わたしたちが泊まっている間、祖母はとても幸せそうでした。わたしは帰る途中で母を訪問すると約束し、その約束を実行しました。

祖母に会いに行ってから5週間後、祖母は心臓発作を起こし、亡くなりました。その2年後、祖母が持っていた情報を基に、わたしは先祖のための神殿の業を行いました。

今、わたしと母は仲良しです。わたしたちは同じ町に住んでいて、母は時々子供の世話を助けてくれます。

あのとき、定期的に訪問して、わたしを励まし、支えてくれた訪問教師の助けがなければ、わたしは母との関係を修復するための一歩を踏み出せなかったでしょう。そのおかげで、わたしだけでなく、多くの世代が祝福を受けたのです。■

ハイク・パーケ（ドイツ、フランクフルト）



この難しい一歩を踏み出すよう御霊が促しているように感じました。

訪問教師が見つつけてくれました

息子が2歳で、わたしがまだ若い母親だったとき、少しの間、ブラジルのサンタカタリーナ州に住んでいました。教会員の知り合いはほとんどいませんでした。開発中の、少し離れた地域に住んでいたため、近所に住んでいる人はあまりいませんでした。

ある日、わたしは具合が悪くなり、その後すぐに脱水症状を起こしました。起き上がって息子の世話をすることも、道路沿いにある、最寄りの電話まで行って夫に電話をかけることもできませんでした。祈り始めましたが、起き上がろうとする度、体の力が抜けていくようでした。

程なくして、訪問教師がドアをたたきました。彼女たちは、わたしを見つめるやいなや、天の御父が導いてくださったことを察知し、わたしのために薬を用意し、息子の世話を助け、食器を洗ってくれました。そして、彼女たちの話によると、わたしの家を見つけるのに随分歩いて、一時は諦めようと思ったそうです。しかし、諦めてはいけないという御霊^{みたま}の声が聞こえたと言うのです。

彼女たちが帰るころには、わたしの具合もだいぶよくなり、彼女たちが行く前に、一緒に祈りました。

彼女たちは、親切な心と、御霊の声を聞いて従う模範によって、わたしにどれほど大きな助けと霊的な養いを与えてくれたか、分からないでしょう。

■
エニルゼ・ド・ロシオ・フェレイラ・ダ・シルバ
(ブラジル、クリチーバ)



程なくして、訪問教師がドアをたたきました。
彼女たちは、わたしを見つめるやいなや、天の御父が導いてくださったことを察知しました。

見知らぬ人の笑顔

普通なら、わたしは避けていたことでしょう。一地元ファストフード店にあるプレイエリアのテーブルでトランプをしていた、くたびれた感じの男性のことです。彼は子供たちが遊ぶ様子を見ながら、悲しそうな表情に穏やかな笑みを浮かべていました。「外は寒いから、ここで暖を取っているに違いないわ。」娘の食べ残しを捨てに行こうとしてテーブルのそばを通ったとき、わたしはそう思いました。テーブルに食べ物の包み紙や紙コップがないことに気づいたとき、静かな細い声がわたしにささやかけました。「何か食べ物を買ってあげなさい。」

ポケットには少しばかりお金が入っていましたが、わたしはそのまま自分のテーブルに戻りました。「きっと彼に気まずい思いをさせてしまうわ」と、自分に言い聞かせました。そのとき、穏やかな気持ちが生じ、御霊の優しいささやきがわたしの心を和らげました。「何か食べ物を買ってあげなさい。」

わたしは、子供たちには何も言わずに、ごみを拾って捨てに行きました。一緒に食事をしていた友人に気づかれなように、その男性のテーブルに近づきたかったからです。

わたしは身をかがめて尋ねました。「ランチをごちそうさせてもらってもいいですか。」

彼は驚いた様子を見せて、穏やかに答えました。「いいですよ。」

わたしは残っていた、かろうじて食べ物と飲み物が買える程度のわずかなお金をポケットから取り出し、男性に渡しました。周りの忙しそうな母親たちに気

づかれることなく席に戻ると、男性が食べる物を買いに席を立つのを見守りました。

家に帰ろうと子供たちを車に乗せて、窓越しに店をのぞくと、男性が食べ物を載せたトレイを持って、何も置いていないテーブルに戻るのが見えました。先ほどの重苦しい顔に笑みが浮かんでいました。

わたしは顔に吹きつける冬の風をまったく冷たく感じませんでした。ブーツの先から寒さで凍りついたポニーテールに至るまで、御霊に包まれて温かく、喜びに満たされました。わたしは救い主の教えを思い出しました。

「あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ……てくれたからである。」

そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。……』

すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。』(マタイ 25:35, 37, 40)

見知らぬ人のその笑顔に感謝しています。その笑顔に助けられ、わたしは勇気を奮って正しいことを行うことができました。■

ジェンナー・ポーター
(アメリカ合衆国、テキサス州)



ミルタが戻るのを助ける

わたしは家族とともに新しいワードに集い始め、そこで扶助協会会長会顧問として奉仕するよう召されました。わたしたち会長会は会長会集会の中で、ワードの扶助協会の姉妹たちの名前の一覧表を見て、姉妹たちとその家族をどう助ければよいか検討したものです。

わたしはミルタという姉妹が気になりました。教会員になってから長い年月がたっていましたが、どういうわけか何年も教会に来ていませんでした。

彼女の夫は長老定員会の会長であるものの、会員である子供たちは教会に集っていないことにわたしは気づきました。毎週、彼女の夫が一人で来ているのを見かけました。

わたしはその家族と一緒に教会に

戻り、主が与えようとされている祝福を享受できるように助ける必要があると感じました。その後の会長会集会で、わたしはミルタが教会に戻れるよう助けたいと述べました。わたしたちはミルタを特別な方法で巻き込める活動を計画し、彼女に頼める幾つかの割り当てを考えました。

ミルタを訪問すると、彼女は一つ一つの割り当てを受け入れ、後でしっかり実行してくれました。彼女は会長会の一人が迎えに来て、扶助協会の活動に連れて行ってくれるのを、喜んで待っていることにわたしたちは気づきました。

会長会として家庭訪問の組み合わせを考えると、わたしはミルタと同僚になることについて検討してほしい

と言いました。毎月欠かさず、わたしとミルタは家庭訪問に行きました。姉妹たちへの訪問は、一緒に話し、互いをさらによく知る機会となりました。

わたしが教会に誘うと、ミルタはただ「準備ができたと感じたら行くわ」と言いました。わたしはよく分かりませんでしたが、彼女の意志を尊重しました。そのうち、ミルタは「日曜日に行こうかしら」と言うようになり、

わたしは毎週期待しながら、彼女が来るのを待ちました。結局来ることはありませんでしたが、わたしは彼女のために祈り続けました。すると、我が家が突然、以前住んでいた場所に家族で引っ越すことになり、ミルタに別れを告げることができませんでした。わたしたち家族がワードを転出したとき、ミルタはまだ教会に戻っていませんでした。

数か月後、わたしはミルタが教会に戻り、しかも扶助協会の顧問となったと聞きました。

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長（1910－2008年）はこう教えています。「皆さんは自分たちがどれほど多くの良い影響力を及ぼしているか分からないかもしれません。しかし、皆さんの働きかけによって生活の中で祝福を得る人がいるのです。」（『リアホナ』2003年11月号、115）

多くの場合、結果は思いがけないもので、しかも期待とは違うタイミングでやって来ます。働くのをやめないようにしましょう。これは主の業であり、わたしたちは多くの人々の人生を変えるために選ばれた主の道具なのです。■

ラケル・エリザベス・ペドラサ・デ・プロシオ
（アルゼンチン、ブエノスアイレス）

御霊の優しいささやきが
心を和らげました。
「何か食べ物を
買ってあげなさい。」



七十人
ボン・G・
キーチ長老

信者の 模範になる

敵 陣の奥深くで困難な任務を与えられたある陸軍小隊の物語があります。部隊が目標に近づくにつれ、敵に存在を気づかれてしまいました。数で勝る敵の部隊にあってという間に取り囲まれ、四方八方から銃弾を浴びせられました。取り囲まれ、容赦のない発砲を受け始めたこの小隊の兵士たちが顔を上げると、司令官が岩の上に立って力強く呼びかけていました。

司令官は兵士たちに向かってこのように叫んでいました。「諸君、敵はそこらじゅうにいる。どの向きに発砲してもかまわないぞ！」

わたしたちにも、今日の世の中で果たすべき困難な使命があります。それは、イエス・キリストの福音に含まれている真理を教え、擁護することです。わたしたちの暮らすこの世界では、人と交わる際の最良の法則を正確に知ることは難しいかもしれせん。真理に異議を唱える多くの声に取り囲まれているときには、特にそうです。様々な方向から集中砲火を浴

びせられるために、どのように対処すればよいか分かりにくいことがしばしばあります。

使徒パウロが言うところの「信者の模範」になるとはどういうことかについてお話ししたいと思います（1テモテ4：12）。天の御父が望まれる方法で永遠の真理を教え、擁護しつつ、キリストが模範を示してくださった敬意や思いやり、深い愛の模範を示すとはどういうことか、また、敵だと思う人に手あたり次第銃口を向けて見境なく引き金を引くことなく、正しいと確信していることを真摯に擁護するとはどういうことかについてお話しします。

実のところ、この二つの原則は相反するように思えることがしばしばあるのではないのでしょうか。わたしたちは、あらゆる形の「悪の霊に対〔して〕」戦わなければならないと教えられています（エペソ6：12）。また、「いつでも、どのようなことについても、どのような所にいても、……神の証人にな〔らなければ〕」ならず（モーサヤ18：9）、決して「〔キリストの〕福

愛と思いやり、
理解を示しながら
イエス・キリストの
福音の教義を教え、
擁護する最善の方法は
何でしょうか。

音を恥とし〔ては〕」ならないと教えられています（ローマ1：16）。しかし、わたしたちはまた、争いを避け、「互いに怒るように人々の心をあおり立てる」ことのないようにとも教えられています（3ニーファイ11：30）。また、「すべての人と平和に過ごし」つつ（ローマ12：18）、「平和に役立つこと……を、追い求め」るべきだと教えられています（ローマ14：19）。



では、争いや怒りを引き起こすことなく、福音に堅く立ち真理を教えるようにという神の命令を果たすにはどうすればよいのでしょうか。今日論争的となっている問題を扱うときには特に、少しでも意見を口に出した途端に争いと対立を引き起こすことがあるようです。皆さんがよく知っているように、今日の世の中は、新たな潮流にすぐわない意見を言おうとする人に対して寛容ではないようです。

そのような難題が降りかかってきたときに、わたしたちは二通りのことをしがちです。一つは、居心地の悪い、あるいは敵対的な情勢をすぐに招く可能性のある状況とかかわりを持たないことを選択して一目散に逃げることです。もう一つは、むきになって激しい議論をすることです。このような議論は見る者を楽しませますが、光よりも怒りを生み出します。

心の中で物事をよく思い計り（教義と聖約9:8参照）、それから天の導きに注意深く耳を傾ける方がよいでしょう。勇気を奮って自分自身の中にある光を使いましょう。

最善を尽くして神の言葉を教え、擁護しつつ、同時にあらゆる人に愛と思いやりを示す際に、常に心に留めておくべき事柄についてお話ししたいと思います。

みことば 御言葉を擁護する

まず、最も成功を収めやすいのは、一対一で人とかかわるときです。短いフレーズで人を引き付けようとするか、絶えず人を出し抜こうとするかの二極化になりつつある今日の文化にあって、

集団での自由な議論はあまり効果がありません。特に、ソーシャルメディアではそうです。ソーシャルメディアでは、慎重に扱うべき社会問題に対してコメントする際に、キリストが望んでおられるような精神から遠ざからないよう注意しなければなりません。

表示できる文字数が140文字に制限されてしまうと、多くの場合に誤解を生むでしょう〔訳注——140文字は、ソーシャルメディアの一つである「ツイッター」に投稿する際の文字数制限〕。たいていの場合、一対一で直接話し合うときに、互いを理解し、よりよい結果がもたらされます。これはまさにトーマス・S・モンソン大管長が教えていることです。一人ずつ、手を差し伸べて救助するよう教えているのです。それは、救い主が地上で教導の業に携わっておられたときに、人々に手を差し伸べ、影響を与えるた

めによく用いられた方法でもあります。

次に、だれかがすぐに光を見いだして翌日宣教師を迎えることに同意すれば、わたしたちは間違いなく大喜びするでしょうが、それは必ずしもわたしたちの最初の目標ではありません。最初の目標は、人の視点を理解することです。つまり、その人を人として尊重し、その人の物の見方を理解するのです。そうして初めて、効果的に話ができるようになり、議論の大半を占めることの多い、非難と誤解に満ちた短い言葉の応酬を回避することができます。

第3に、異なる意見を尊重しつつ社会で共存する方法を探そうではありませんか。ほかの人の自由を損なうことなく自分の視点に沿って生活するだけでなく、もっと良い方法を試してみようではありませんか。多元的な社



会にあってすべての人を公平に扱おうとするならば、ある基本的なことを試してみましょう。自分の人権を他人に擁護してもらうことを期待するならば、自分自身も相手の基本的人権を擁護し、意見を表明する権利と信条を主張する権利を相手にも認めなければなりません。

最後に、一度きりの取り組みで互いに理解し合えることはめったにありません。理解し合うことは過程で、しばしばかなりの時間を必要とします。わたしたちの視点を受け入れてもらえないかもしれませんが、わたしたちは「偏屈」「憎悪」といった言葉を使わないよう努力することができます。たとえわたしたちの基本的な考えを理解してもらえなかったとしても、本質的に善良で分別のある人として互いを見ましょう。

救い主のように行動する

イエス・キリストの福音を擁護することが難しい状況に直面したときには、救い主のように行動することを常に念頭においてください。使徒パウロが教えたように、「信者の模範になる」とは、単に人に見てもらうために福音の原則に従って生活する以上のことです。パウロは、同じ福音の原則が会話の中にも、人々への愛にも、わたしたちがかもしだす雰囲気にも、わたしたちを定義づける信条にも映し出されなければならないと明確に述べています（1テモテ4：12 参照）。

つまるところ、二つの重要な福音の原則、つまり真理を擁護しつつ同時に人に敬意と愛を示すという原則は、正

福音を擁護するときには：

- 一対一で、直接話をする。
- 人の視点を理解しようと努める。
- あらゆる人の人権を擁護する。
- 人を善良で分別のある人として見る。
- 愛と思いやり、理解を示す。

しく理解するならば、矛盾してはいないのです。真理に対する強い確信があるために、敬意を欠き、敵意をむき出しにした行動に走るべきではありません。しかし同時に、すべての人に思いやりと愛を示したいという望みのために、真理を擁護するという務めをないがしろにしてはなりません。

この二つの原則は実のところ、同じ硬貨の両面にすぎないのです。硬貨の片面は、神の教義を説明し、確固として擁護するというわたしたちの務めです。同じ硬貨のもう片面は、常に敬意と愛を示しながらキリストのような方法で行動するという務めです。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老はこのように説明しています。

「ほかの人々とその信条に、寛容と尊敬を示すからといって、わたしたちが理解している真理と交わした聖約に対する決意を放棄するということにはなりません。……真理を擁護しなければなりません。その一方で、わた

したちとは異なる信条や考え、またそれらを保持する人々に寛容であり、敬意を示します。……

この靈感による忠告は、絶対的な真理を信じている人々にとって、行為に対する寛容は両面を持つ硬貨のようなものであることを思い出させます。寛容や尊敬が硬貨の片面で、その裏面が真理です。」¹

世界は急速に多元化へと向かい、敵対心は募る一方です。四方八方から矢継ぎ早に銃弾が飛んでくるように感じるこの多いこの世界にあって、皆さんに硬貨の両面をよく調べるようチャレンジします。生活の中で様々な状況が起こるたびに、教義を受け入れられない人にキリストの福音の教義を確固として教え、擁護しつつ、愛と思いやりと理解を示す最善の方法は何かを自問してください。

そうするときに、天の御父の助けと導きを得られることを証します。常に主があなたを導き、まさに必要とするときに、考えを思いに入れ、感情を心に入れ、言葉を口に入れてくださるのを感じるでしょう。主の御霊が皆さんを導き、指針となり、皆さんを真の「信者の模範」へと変えてくださるでしょう。イエス・キリストの福音に従って生活するだけでなく、愛を示し、異なる意見も聞き入れながら教義を擁護し、説明する人となるのです。■

2016年6月14日にブリガム・ヤング大学アイダホ校のディボーションで行われた説教「信者の模範」(An Example of the Believers) から。英語の全文を見るには、web.byui.edu/devotionalsandspeeches にアクセスしてください。

注

1. ダリン・H・オークス「真理と寛容のバランスを取る」『リアホナ』2013年2月号、32

南アフリカで 世界を味わってみる

マッケンナ・ジョンソン

よく晴れた土曜日の朝のネイバーグッツ・マーケット〔訳注―地元の農産物や雑貨が売られている南アフリカの土曜の朝市〕の様子です。店先につるしてある色とりどりの傘の下を生演奏を聞きながら歩いて、今日の献立にぴったりの食材を探します。鉄鍋に入った南アフリカの伝統料理には、ペスト（訳注―バジリコ、ニンニク、チーズ、オリーブ油で作るソース）、牡蠣、野菜、様々なスパイス、テリーヌなどの種類があり、それを見ると全部食べてみたくなります。

ヨハネスブルグへようこそ。

「ここはとても温かくて居心地がいいわよ」と28歳のロス・ムパイは言います。高層ビルを想像していなかった旅行者たちは、ヨハネスブルグの湧き上がるような熱気に驚くことがあります。「通りを歩き回るライオンを見かけることなんてないわ」とロスは言います。

ロスは離婚した母親で、5歳になる息子のネイトがおり、大学でコミュニケーションを学びながら生産支援アナリストとして働いています。食べ物へのこだわりから人々に奉仕する努力に至るまで、彼女は日々の生活において冒険心にあふれ、物事を前向きに受け入れ、自分の信仰に忠実です。

ヨハネスブルグの聖徒たちは、互い

に、また周りの人々に手を差し伸べています。例えば、ロスの友人トゥミの家が浸水したとき、教会のたくさんの友人が水をくみ出して家をきれいにする手伝いをし、家族を励ました。「それがきっかけで、教会員ではないトゥミのお母さんは変わりました」とロスは説明します。「彼女は宣教師と会うようになり、今では教会員となって、扶助協会の教師をしています。」互いのことを兄弟姉妹であると思っている南アフリカの会員にとって、このような愛の働きはよくあることです。「ほかの人々の問題を、まるで自分自身の問題であるかのように考えて奉仕に参加します」とロスは述べています。

ロス自身も知っているように、このような共感する姿勢は、天の御父とイエス・キリストの模範によって示されています。「天の御父はこのような愛でわたしたちを祝福してください。天父は、まだ若いわたしが困難な問題に直面するときに経験する喜びや悲しみを御存じで理解しておられ、それを克服できるように助けてください」と彼女は言います。

ロスが持つ救い主との関係は、職場の同僚たちへの接し方から個人勉強のしかたに至るまで、彼女の生活に大きな影響を与えています。「職場の環境が好ましくないときもあります。」彼女は続けます。「不敬な言葉を

生い立ちや
文化の違いがあっても、
南アフリカの聖徒たちは
互いに
助け合っています。

使ったり、不誠実な判断をしたりしても何とも思わない人もいます。わたしの人生に福音の原則や預言者の教えがあることで祝福されています。1日を聖文研究と祈りで始めるときは、いつも御霊とともにいることができます。誘惑に遭ったときも、静かな細い声が自分が何者であるか、何を信じているのかを思い起こさせてくれます。それによって自分の標準に忠実でいることができるのです。」

ネイバーグッツ・マーケットはヨハネスブルグの国際的で都会的な雰囲気象徴していますが、ロスにとって福音の真理はもっと深遠なものを象徴しています。それは永遠の命という約束です。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



ロスについて

自分の文化のどんなところが好きですか。

モルモンと同じように、アフリカ人は先祖を忘れ去ることはありません。わたしたちは先祖のために家族歴史やバプテスマを行っています、それがアフリカ人の共感を呼ぶのです。

南アフリカの好きな食べ物は何ですか。

エビのマサラ〔訳注——香辛料を混ぜた料理〕です。辛くてスパイスの効いた食べ物が好きです。エビが入ったカレーソースを白いバスマティライスにかけて食べます。とてもおいしいです。

南アフリカの教会

末日聖徒の人数 62,600

ユニット数 168

家族歴史センターの数 71

伝道部 3

神殿 1

(もう一つの神殿建設が発表されている)

南アフリカについて

正式国名: 南アフリカ共和国

首都: プレトリア (行政), ケープ・タウン (立法), ブルームフォンテイン (司法)

数字で見ると

人口 5,180 万人

海岸線は 1,553 マイル (2,500 キロ)

にも及び

11 の公用語



悔い改めについて抱く

7つの恐れと、

恐れる必要はない理由

わたしたちは悔い改めを恐れてしまうことがよくあります。でも、真理から勇気をもらうことができます。



教会機関誌

デビッド・A・エドワーズ

わたしたちは皆、すべての人が悔い改める必要があることを知っています（ローマ 3：23 参照）。イエス・キリストの贖いの犠牲の力を通して真の喜びを見いだすために悔い改める必要があることを知っています（アルマ 36：24 参照）。また、悔い改めを引き延ばすのが良くないことも知っています（アル

マ 34：32－34 参照）。それなのに、わたしたちの多くは引き延ばしてしまいます。それはなぜでしょうか。皆さんは、よく分かっていますよね。

考えられる答えの一つは恐れです。悔い改めるべきことが、ビショップに告白する必要がある重大な罪であるか、主の福音とその標準に全力を尽くすのを妨げる習慣、態度、または行動

であるかにかかわらず、恐れがあると、生活を改めるのに必要な行動が取れない場合があります。

ここでは、悔い改めを先送りさせる可能性のある7つの恐れに加えて、勇気を出す助けとなるアイデアや教え、また、平安と幸福がもたらされると分かっている事柄を行う助けとなるアイデアや教えを述べます。



1. 恥ずかしい思いをすることへの恐れ

自分がしたことをビショップに伝えたら、ビショップはとてもがっかりするだろうし、自分もとても恥ずかしい思いをするだろう。両親に話さなければいけなくなったらどうしよう。ほかの人に知られたらどうしよう。

恥ずかしい思いをすることよりも、はるかに悪いことがあります。例えば、未解決の罪という霊的な重荷や、聖霊を伴侶とすることができなくなることなどです。ビショップに告白して恥ずかしい思いをしたとしても、それは一時期だけですし、その後で得られる安らぎや喜びによって完全になくなります。ビショップに告白したことがある人ならだれでも、同じことを言うでしょう。

「わたしは約束します。ビショップがあなたを責めることはありません。主の僕として話を聞くと、思いやりと理解を示すでしょう。その後、悔い改めの過程を通じて助けてくれるでしょう。ビショップは、イエス・キリストの贖罪により清くなれるように助ける、主の憐れみをもたらす使者なのです。」

七十人 C・スコット・グロー長老

「ビショップに告白する必要があるのはなぜでしょうか？ 何について告白する必要がありますか？」
『リアホナ』2013年10月号, 59

2. 結果に対する恐れ

自分の罪についてビショップに話したら、その結果として聖餐を取れなくなったり、聖餐の祝福やパスができなくなったり、伝道に出たいときに出られなくなったりするかもしれません。そうなったら、自分の人生は台無しになってしまいます。

悔い改めによって得られる良い結果は、悪いように思える結果よりもずっと大切だということを覚えておいてください。告白し、悔い改める人々に主が約束されている良い事柄に目を向けてください。

「悔い改めることができるという事実こそが、福音の良きおとずれです！ 罪悪感がぬぐい去られます。喜びに満たされ、罪の赦しを受け、良心の安らぎを得ることができます。絶望感と罪の束縛から解放されます。」

十二使徒定員会 デール・G・レンランド長老「悔い改め—喜びに満ちた選択」
『リアホナ』2016年11月号, 124

「罪を犯してしまったとしても、悔い改めが早ければ早いほど、それだけ早く元の道に戻り始め、赦しによって得られる平安と喜びを自分のものにできますでしょう。」

『若人の強さのために』28

3. 努力に対する恐れ

必要な変化を起こすのはすごく難しそうだし、時間も長くなりそうです。

価値のあるものを得るには努力が必要です。赦し、平安、そして霊的な成長は、想像できる中で最も価値のあるものの一つです。

「悔い改めとは変わる努力を意味します。何の努力もしないのに主が天使のような人に変えてくださると期待することは、救い主がゲツセマネの園と十字架上で負ってくださった苦しみをあざけることになります。そうではなく、わたしたちの熱心な努力を補い、報いてくださるよう主の恵みを願い求めるべきです（2ニーファイ 25：23 参照）。あるいは憐れみを求めて祈るのと同じくらいに、取り組み、努力し、そして罪を克服するための時間と機会を求めて祈り求めるべきでしょう。」

D・トッド・クリストファーソン長老
「悔い改めという神の賜物」
（『リアホナ』2011年11月号, 39）



4. 自分のイメージが損なわれることへの恐れ

自分は「良い子」の一人です。自分が過ちを犯したことを認めたら、もう終わりです。もう「良い子」ではなくなってしまいます。そうなったら自分はどのようなのでしょうか。どう思われるのでしょうか。だから、そんなことは忘れて、何も変わらない振りをして今までどおりやっていこうと思います。

主がわたしたちの「弱さを強さに変え〔る〕」ことがおできになるように、わたしたちは神の前で自分たちの罪を謙遜に認める必要があります（エテル 12：27）。そして、ほんとうにあなたが努力して身につけるべきイメージは、天の御父とイエス・キリストがあなたに対して持っておられるイ

メージなのです。それはつまり、たとえ不完全であっても、御^お二^{ふた}方^{かた}の助けを通じて、神から与えられた無限の可能性を持った神の子であるというイメージです。

「神はわたしたちが何者であるかを知っておられ……わたしたちを救助するにふさわしい者と見ておられるのです。……」

弟子としての道を、信仰を持って一歩ずつ歩むときに、わたしたちは成長して、永遠の栄光をまとった存在となり、無限の喜びを得るのです。わたしたちはそうなるよう造られました。」

大管長会第二顧問

ディーター・F・ウークトドルフ管長

「主はあなたを肩に乗せて家に連れ帰ってください」

『リアホナ』2016年5月号, 104

5. 自分らしさを失うことへの恐れ

もし教会の標準を守ったら、好きな映画やテレビ番組、音楽、自分を表現する方法など、そういう自分らしさがなくなってしまいます。ただの月並みなモルモンになってしまいます。それよりも自分らしくありたいのです。

悔い改めを通して、あなたは生活の中で聖霊とともにあることができます。そして御^み霊^{たま}を通して、より深い、より真実な、より良いあなたらしさを発見することができます。真のあなたらしさとは、好みや習慣や癖といった不安定な砂の土台の上に築かれたものではなく、神が御覧になっている、本来あなたになり得る姿に基づいています。

「サタンは、皆さんの神聖な可能性よりも、むしろ罪によって自分自身の価値を決めつけるように仕向けます。……サタンに耳を貸してはなりません。」

ディーター・F・ウークトドルフ管長「4つの称号」
『リアホナ』2013年5月号, 58

「心の清い人々はそれぞれ個性的です。」

それに反して、罪人はいつでも一様です。罪人は恐れながらも肉体的な快楽に耽溺^{たんでき}したり、次元の低い衝動に身を任せてしまいます。」

十二使徒定員会

ニール・A・マックススウェル長老（1926－2004年）

「悔い改め」

『聖徒の道』1992年1月号, 34



6. 失敗への恐れ

これまで何度も変わろうとしましたが、いまだに同じ過ちを繰り返しています。多分、もうチャンスを使い果たして、絶対に変わることはできないということなのでしょう。もう一度やってみてダメだったら、それがほんとうだと証明してしまうことになりませんか。

悔い改めは簡単ではありません。もともと、簡単であるように定められてはいないのです。でも、それはあなたを喜びへと導いてくれる道ですから、どうぞその道を歩み続けてください。心からの悔い改めに制限はありません（モーサヤ 26：30 参照）。神の御子はわたしたちの罪を贖うために無限無窮の犠牲として御自身をお与えになりました。わたしたちが信仰をもって悔

い改めるならば赦されるためです（アルマ 34：9－16 参照）。分かりましたか。無限で無窮なのです。あなたが贖罪の及ばない所にいることはありません。主の贖罪には限界はないからです。努力し続けてください。

「悔い改め、キリストのようになろうとする日々の努力の中で、時々、自分がいつも同じ問題で苦勞していると感じることがあります。木が生い茂った山を登るときと同じで、頂上に近づいて高い尾根から振り返るまで、どれほど進んだか実感できないことがあるのです。がっかりしないでください。努力して悔い改めているのであれば、あなたは悔い改めの道を歩んでいるのです。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老
「わたしがあなたがたを癒すことができるように、……悔い改めなさい」『リアホナ』2009 年 11 月号, 41

「イエス・キリストの贖罪の賜物と、天の力から助けを受けることができれば、わたしたちは向上できます。そして福音のすばらしさは、必ずしも成功するとは限らないにしても、努力し続けることによって報われるということにあるのです。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
「あす、主があなたがたのうちに不思議を行われるからである」
『リアホナ』2016 年 5 月号, 125

7. 成功への恐れ

わたしがほんとうに自分の生活を変えることができるとしたらどうなるでしょうか。そうなったら、もっと多くのことを期待されてしまうかもしれません。これ以上責任を負わなくて済むように、欠点だらけの平凡な自分のままでいた方がいいです。

より高いことを期待されることや、さらなる責任を受けることへの恐れは、怠惰や不安から来ているのかもしれませんが、でも、天の御父の計画は、改善と進歩の計画です。あなたは前世でその計画を受け入れました。勤勉になり、信仰を持って、今それを心から受け入れてください。天の御父があなたにどんな人物になってほしいと望んでおられ、どんな生活を送ってほしいと望んでおられるかを、理解しようとしてみてください。あなたがなり得る真の姿を実際に目にしたら、それを信じることさえ難しいでしょう。でも、天の御父と救い主の助けを借りるなら、それはあなたの手の届く所にあります。

「わたしたちの責任は、平凡な人間から秀でた人間になることであり、失敗を土台にして成功に到達し、最上の自分になることです。」

トーマス・S・モンソン大管長
「秘められた思い」『聖徒の道』1987 年 7 月号, 74



医者から 言われたとおりに



教会機関誌

シャーロット・ラーカバル

わたしは医者に行くのが大嫌いです。わたしはいつも、大騒ぎして病院に行き、長い間待たされ、注射をされ、「お大事に」と言われると考えただけで、身震いします。とても幼いころ、看護師や医者というのは、わたしのことを裁縫で使う針山だと思って注射をしてくる、ただの意地悪な人たちだと思っていました。でも、大きくなってからは、彼らは別に悪い人ではなく、わたしを助けようとしてくれていたのだと分かりました。やがて、彼らに会うだけで元気になったように感じました。どんなに待合室が退屈でも、注射をされてどれほど金切り声を上げて、医者から寝ているように言われてどれほどがっかりしても、結局はすべてそうする価値があったのです。

時には、悔い改めについても、医者に行くのと同じように感じるかもしれません。

喜び、それとも苦痛？

ひどい味がする薬や鋭い針について考えるだけで縮み上がるとしたら、「永遠の苦痛に責めさいなまれた」「地獄の苦しみを味わった」という言葉を聞いたなら、少し縮み上がるだけで

済むでしょうか（アルマ 36：12－18 参照）。アルマは、そのような言葉で自分が悔い改めを始めたときの様子を説明しました。

天使がアルマとモーサヤの息子たちに現れた後、アルマは自分の罪のすべてを思い出し、自分がどれほど神に背いていたかに気づきました。アルマは「霊と肉体がともになくなってしま」ったらよいのにと望むほど惨めでした（アルマ 36：15）。ひどい痛みを感じていたわけです。それに比べたら、医者の注射はおばあさんからパチンとハイタッチされた程度に思えます。ではなぜアルマは「絶えず……人々を悔い改めに導く」ために働き続けたのでしょうか（アルマ 36：24）。なぜアルマは、とてもつらく苦しかったことをほかの人々にも経験してほしいと思ったのでしょうか。

その理由は恐らく、その後に起こったことを経験したからでしょう。

アルマは救い主、イエス・キリストを思い出しました。

「わたしは心の中で、『おお、神の御子イエスよ、……わたしを憐れんでください』と叫んだ。……

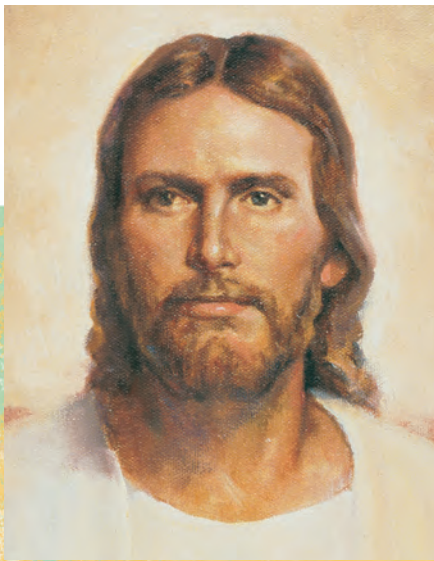
さて見よ、このことを思ったとき、わたしはもはや苦痛を忘れることができ

た。まことに、わたしは二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった。

おお、何という喜びであったことか。何という驚くべき光をわたしは見たことか。まことに、わたしは前に感じた苦痛に勝るほどの喜びに満たされたのである。」（アルマ 36：18－20、強調付加）自分の罪に向き合うことは難しく、つらいことであったとしても、その後に経験する喜びを得るためなら、その苦痛に耐える価値はあるということアルマは学んだのです。アルマが感じた喜びは、それまでに感じたどのようなものよりも美しく、また快いものでした（アルマ 36：21 参照）。

恐れることはない

もしも人が悔い改めについて考えただけで縮み上がるとしたら、それはつらい部分だけに目を向けているからです。確かに悔い改めには時間がかかります。償いには大いなる謙遜^{けんそん}と大変な努力を伴うこともあります。でも、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老（1928－2015 年）は次のように教えています。「悔い改めは罰ではないのです。より栄光に満ちた将来に向かって進む、希望に満ちた道なのです。」¹ 十二使徒定



員会のラッセル・M・ネルソン会長は、それを「悔い改めの清らかな祝福」と呼んでいます。² 言い換えれば、悔い改めを恐れったり避けたりする理由はありません。自分の罪に向き合ったり、償いをしたりすることがどれほど難しくても、贖罪による救い主の癒しの力は、わたしたちがそれをやり遂げられるようにいつもそこにあります。そして、わたしたちが感じる喜びは、それまで感じていたかもしれないあらゆる痛みや恥づかしさ、または悲しみという感情を完全に覆いつくし、薄れさせてくれます。

あなたのために

あなたは *Primum non nocere* (プリムム・ノーン・ノケーレ) という言葉がどんな意味か知っていますか。医者であれば恐らく分かるでしょう。*Primum non nocere* とはラテン語で「まず、害を及ぼさない」ということです。これは、すべての医療従事者のための指針であり、彼らが交わす約束です。それは、痛みを決して与えないと約束するという意味ではなく、彼らが

行うすべての事柄は常に患者に益を与えるためであるということです。

あなたは神とイエス・キリストもそのような約束をなさると思いますか。確かになさいます！ 次の聖文を見てみましょう。イザヤ書第1章18節、イザヤ書第41章13節、ローマ人への手紙第8章28節、そして第3ニーファイ第13章14節です。(真剣に、読んでみてください。これらは一例にすぎません!) 御二方と人との違いは、人は時には過ちを犯しますが、イエス・キリストと天の御父は完全であられるということです。ですから、御二方があなたに求められるものはすべてあなたのためになるということを完全に信頼することができます。常です。ですから、神が悔い改めを処方されるのは、それがあなたの人生を祝福すると知っておられるからです。悔い改めは罰ではありません。悔い改めは癒しであり、弱さに打ち勝つことであり、生まれながらの人を遠ざけることであり、そして神に頼るために罪から離れることです。

「偉大な医者である主の指示に従

い、イエス・キリストの贖罪と悔い改めを日々の生活の中で心から待ち受け、応用するものとして喜んで受け入れてください」と七十人のヨーク・クレビンガット長老は述べています。「自ら選んだ生活習慣として、悔い改めを続けて、楽しく、喜んで行う態度を身につけてください。」³

偉大な医者であるイエス・キリストがあなたに悔い改めのための処方箋を書いてくださったなら、苦痛や屈辱を恐れるあまり、それを無駄にしてしまうことのないようにしてください。少しの間痛い思いをするかもしれませんが、深い憐れみをもってあなたを集めよう(3ニーファイ22:7参照)としてくださる主の約束を信頼してください。そうするなら、アルマと同じように、あなたはその苦痛に勝るほどの喜びに満たされることでしょう(アルマ36:19-20参照)。■

注

1. リチャード・G・スコット「イエス・キリストの贖罪から得られる個人の強さ」『リアホナ』2013年11月号, 84
2. ラッセル・M・ネルソン「悔い改めと改心」『リアホナ』2007年5月, 104, 強調付加
3. ヨーク・クレビンガット「自信を持って神の御座に近づく」『リアホナ』2014年11月号, 36

そこが知りたい

なぜ
天のお母様については
よく知られていないので
しょうか

わたしたちは、天のお父様もお母様もいらっしゃることを知っています。この知識は、ジョセフ・スミスから始まり、長年にわたって教会指導者の靈感された教えにより繰り返し強調されてきました。しかし、天のお母様がいらっしゃることと、子供たちの救いと昇栄のために一緒に働かれる天の両親の役割以上に、天のお母様について詳しいことは明らかにされていません。今は、わたしたちが天の両親のようになることを願っておられる御二人の子供であると理解するだけで十分なのです。これを理解すると、自分が何者であり、どのような者になることができるかを知る助けとなります。このことから、性別は永遠の特性の一部であり、男性と女性はお互いなくして昇栄することはできないということが分かります。そして、そのこと自体が特別で、貴い真理なのです。■

詳しくは、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>の「天の母」をご覧ください。



性教育について、
教会はどのように考えていますか

教会指導者は、異性間の親密さについては両親により教えられるべきであると述べています。この責任において、深刻な罪を避けるよう子供たちを助けるために、両親は家庭で性的な親密さについて子供たちに教えるよう勧められています。教会は、これを助ける資料も準備しています。

教会指導者は、性的な関係について学校で教えられることに関して、そこで何が教えられ、それらが良い道徳的、倫理的価値観に倣っているか知っておくよう両親に勧めています。■



ためらいながらも信仰を示し、

メキシコで宣教師として働いていたとき、わたしは信仰を行動に示すときにもたらされる「良い実」を見いだす経験をしました。

アサイアス・バルガス・チャバリア

わたしが働いていたステーキで、ある伝道の活動が計画されました。同僚とわたしは、求道者の参加者に福音の原則を簡単に教えることになっていました。しかし、集会所に着くと、求道者はほとんど来ていないことが分かりました。最初に計画したように原則を教える代わりに、通りに出て行き、道行く人に活動への参加を呼びかけるよう頼まれました。

正直に言うと、わたしは「うまくいくわけがない」と思わずにはいられませんでした。わたしたちの努力はきっと無駄に終わるだろうと感じていました。特にそのように予告もなしに活動に来るよう招いても、だれも来てくれ

ないだろうと思ったからです。

でも、従順の大切さを分かっていたので、同僚とわたしは来てくれるよう人々を招きました。しばらくすると、一人の女性とその娘、彼女のボーイフレンドが通りかかりました。招待すると、最初は気が進まない様子でしたが、最後には招きを受け入れ、活動に加わってくれました。わたしは驚きましたが、うれしくなりました。

活動が始まりました。福音を中心とした音楽の発表です。活動は1時間以上続いたので、時間が長いからという理由で彼らが怒っているのではないかと心配しましたが、心の中ですべてがうまくいくように祈りました。

活動が終わると、長く時間を取ってしまったことを謝ろうと彼らに近づいて行きました。



豊かに祝福される

するとわたしが何も言わないうちに、女性がこう言いました。「ありがとうございます。とてもすばらしかったわ。感謝します。」

わたしはほんとうに驚きました。彼らは活動に感謝し、時間を気にはしていませんでした。驚くべき経験をして、わたしは心に喜びを感じました。（通りで人々に声をかけるなんてうまくいくはずがないと思っていたのですから！）その女性は、教会についてもっと知りたい、そして日曜日の集会にも出席したいと言いました。

この経験からすばらしいことを学びました。少しの信仰を表すことで、たとえ信じようとする望みほどのものであったとしても、す

ばらしい実をもたらすことができるのです（アルマ 32：27－28 参照）。

この経験により、残りの伝道に対するわたしの態度は変わりました。それ以来、伝道の活動の度に、わたしが希望と信仰の目をもって出て行くとき、自分の働きからもたらされた実を見いだすことができました。

たとえ実現できないと思えても、信仰を行使すれば、すばらしい実を得ることができます。わたしたちには不可能に思えることでも、神にとっては可能なのです。■

筆者はメキシコのゲレロ在住です。

あなたがたを受け入れる人々を見いだしなさい

「あなたは『あなたがたを受け入れる人々』を見い出すことによって教会を築かなければなりません（教義と聖約 42：8）。……多くの人々は『〔ただ〕見い出す場所を知らないということだけで真理を得られずにいる』のです（教義と聖約 123：12）。

普通、あなたはだれがそのような人々なのかを知りませんし、彼らもあなたがたが主の僕であることをすぐには気づかないかもしれません。人生における大きな平安、指針、目的が、ほかの何よりも回復された福音から得られることを彼らはまだ理解していないかもしれません。回復された福音を実際に見い出すまで、それを探し求めているという意識すら持っていないことがしばしばあります。例を挙げると、ある改宗者はこう言っています。『福音について聞いたとき、心に開いていた穴がふさがりました。けれども、心に穴が開いていたことをそれまで知りませんでした。』別の改宗者はこう言っています。『探し求めているものを見つけて初めて、自分がそのようなものを探し求めていたことに気づきました。』

『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』156

わたしたちのスペース



家族の試練を乗り越えて

シルビア・C (イタリア, ウンブリア州)

両親が離婚した後のわたしの人生はつらいものでした。教会に行けばいつも少しは気持ちが晴れまし

たが、家族についての話を聞くと悲しくなりました。わたしには家族はいないと思っていたからです。

母はあまり活発ではない会員で、再婚しました。父は無神論者で、別の女性と暮らしていました。二人とも新しいパートナーとの間に子供をもうけており、わたしは自分のことを、まるで何の価値もないただのお荷物——何かの間違い——のように感じていました。

そのため、祈り、聖文を読み、^{めいそう}瞑想にふけるようになり、教会に行き続けるように努めました。でも「神殿で結び固められた家族がいなければ、来世でどうすればよいのだろう」と考えずにはいられませんでした。

その答えはすぐには得られませんでした。やがて得ました。家族の定義を調べて、それに関する聖句を読みました。すると明るい面が見え始めたのです。わたしには家族がいないと

考えるのではなく、宣教師として神の子供たちを教会に導く手伝いができることが分かりました。忍耐すること、光になることを学びました。もっと良い人になろうと努めました。また、自分の家族のような家族でなければ、今のような信仰を育んでいなかったかもしれず、今のように純潔の律法や救いの計画を重んじていないであろうということにも気づきました。

自分にもちゃんと家族がいることを理解できるようになりました。そして、新しい、もっと大きな家族に感謝しています。つらい日々でしたが、わたしの家族が死後にどうなるかは心配していません。わたしは神を信頼しています。神はなぜわたしたちが結び固められていないのかを御存じです。神は、わたしが家族をどれほど愛しているか、そしてわたしにとって何が最善であるかを御存じなのです。人はすべてを理解することはできません。そのため、神が支えてくださり、万事うまくいくことが分かるようにして下さると信じるのが重要なのです。■

父のためにささげる 誕生日の祈り

クーパー・B (アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

父はどんな宗教にも触れることなく育ち、母の家族は母が幼いときに教会に行かなくなりました。しかしある日、母は何かが欠けているような気持ちに駆られ、自分が育った教会である末日聖徒イエス・キリスト教会に戻ることにしました。わたしは妹たちと一緒に母について行きました。しかし、父はわたしたちが教会に行くことを快く思わず、そのために両親の関係にこれまでで最大の試練が訪れました。

わたしは8歳のときにバプテスマを受けて、どうすれば家族が永遠に一緒にいられるかを学びました。毎年わたしの誕生日に、わたしは父がバプテスマを受けるようにとひそかに願いながら、ろうそくの火を吹き消しました。父の心が和らぐように祈りました。それから何年もたって、ようやく宣教師がわたしたちと一緒に食事をすることができました。しかし、福音

の話をすることはありませんでした。

その後のある夏に、父がわたしと一緒に若い男性のキャンプ旅行に参加しました。父は会員ではありませんでしたが、ファイヤサイドを任されることになりました。わたしはとても心配しましたが、みんながファイヤサイドに参加して助けてくれました。その後、友人が祈りについて証をし、友人の弟を父が助けたこと、そしてそれが彼の祈りの答えであったことを話してくれました。わたしは初めて、父が泣くのを見ました。父は御霊を感じたのです。

その旅行の後で、父はこれまでにない熱意で福音をもっと詳しく知りたいと思い、ある朝、バプテスマを受けたいと言い出しました。わたしたちには信じられませんでした。

父のバプテスマは、わたしの人生でも指折りの最高の日でした。礼拝堂は父を支えるために集まってくれた人でいっぱいになりました。わたしはとてもうれしくて、バプテスマの祈りを何百回も練習しました。わたしは父にバプテスマを施すことができ

ました。そして、バプテスマフォントで父を抱き締めたときに込み上げてきた圧倒的な感情は、言葉では表現できません。

翌年、わたしは家族と神殿で結び固められました。結び固めの後、——永遠の家族として——みんなで輪になり、喜びの涙を流して抱き合いました。

この経験から、どんなことにも可能性はあるということを学びました。諦めないでください。わたしは、自分の将来の家族と神殿で結び固めを受けるにふさわしくなるように、絶対に最善を尽くしていくつもりです。■

あなたの番です

あなたの信仰が育まれた経験について分かち合ってください。あなたの経験を1200文字以内にまとめ、件名に「Our Space」と書き、4月10日までに liahona.lds.org から投稿するか、liahona@ldschurch.org 宛てにEメールで送ってください。



希望
を選びましょう

どのような困難を経験していても、福音を通して「完全な希望の輝き」を見つけることができます。

(2 ニーファイ 31:20 参照)



十二使徒定員会
ニール・L・
アンダーセン長老

信仰の試しに 立ち向かう方法

燃える炎のような試練は皆さんを強めるためにありますが、神の御子に対する信頼を弱めたり、失わせたりすることさえあり、主との約束を守ろうとする決心を弱めてしまう可能性もあります。これらの試練は姿を変えていて、見分けにくいことがよくあります。わたしたちの弱さや繊細な部分、敏感な部分、あるいは最も大切な事柄の中に隠れています。ある人にとっては、どうにか対処できる試練が、ほかの人にとっては炎のような難しい試練となることがあります。

信仰の試しを受けるとき、どうしたら「確固として動かずに」（アルマ 1：25）いられるでしょうか。それには、信仰の核を築いてくれたものに浸ることです。つまり、キリストを信じ

る信仰を働かせ、祈り、聖文について思い巡らし、悔い改め、教会に出席して聖餐を取り、戒めを守り、人々に奉仕するのです。

信仰の試しに遭うとき、何をするにせよ、教会から離れてはなりません。信仰の試しの間に神の王国から離れるのは、竜巻が見えたときに、安全な避難用地下室を離れるようなものです。

使徒パウロは言いました。「そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。」（エペソ 2：19）教会という聖なる場所の中で、信仰を守るのです。信仰を持つ人々と集い、祈りをささげ、答えを見いだし、音楽を通して礼拝し、救い主の証を分かち合い、互いに仕



え合い、主の御霊を感じるのです。わたしたちは聖餐を受け、神権の祝福を受け、神殿に参入します。主は宣言されました。「……この神権の儀式によって神性の力が現れる」と（教義と聖約 84：20）。信仰の試しに遭うとき、神の家の守りの中で安全でいてください。そこには常に皆さんの居場所があります。わたしたちが力を合わせても克服できない試しなどないのです（モーサヤ 18：8－10）。■

2012年10月の総大会における説教から

土壇場の奇跡

シーザー・H・ボニート・デュアルテ

16 歳のとき、電子工学の準学士を取得しようと、工業専門の高校に通っていました。学位取得の要件として、自分の機械に関する技術を示すために、地元企業で30日間のインターンシップを終えなければなりません。

わたしは紙製品の会社でインターンをしました。ちょうど専任宣教師として奉仕したいという望みが強まってきたときで、この仕事は資金をためるのに役立つだろうと思われました。しかし、わたしを含めインターンは3人いて、会社は1人だけを正社員として選ぶというのです。

会社には故障した機械がありました。ちゃんと動いていたときには、これと似た機械の3倍の仕事をこなす

ことができるものでした。この機械は長い間動いておらず、会社は海外から交換部品を取り寄せて動かそうとしましたが、だめでした。わたしはこれを修理するチャレンジを引き受けました。

毎日何時間もこの機械について研究しましたが、とても複雑な機械だったので、わたしのような経験の浅い者が、故障の理由をたった30日で特定するのは簡単なことではありませんでした。でも、自分にはできると感じていました。仕事の前に毎朝、機関誌『リアホナ』の記事を読んで天の御父に祈りました。また、熟練の電気技師である上司と良い関係を築いて、週末に機械の設計図を持ち帰る許可をもらいました。わたしは、一生懸命その

設計図を研究しました。

インターンシップが終わりに近づき、二人の同僚は割り当てのプロジェクトを完了していたので、わたしは焦り始めました。また、周囲から否定的な（あざけりとも言える）言葉を受けても、わたしは決して疑いませんでした。インターンシップが終了する金曜日がすぐにやって来ました。幾つかの問題は解決していましたが、機械はまだ動きませんでした。もう少しで直せるという自信があったので、上司に土曜日に働く許可をもらえれば、月曜日までに直すと申し出ました。

上司は非常に驚いて、許可を得られないかと社長に直接聞いてくれました。そして上司は、社長と上司とわたしの3人で翌日の昼まで働こうとわた

イラスト/デビッド・カティス

わたしは若くて経験もなく、時間ありませんでした。
簡単な祈りが、ほんとうに奇跡をもたらすことができるのでしょうか。

しに言いました。「3人ですか？」とわたしは尋ねました。この機械を直そうと何度やってみてもだめで諦めていたので、電気技師である社長は、わたしの申し出に興味を持ったのだと話してくれました。

次の日、わたしは二人の熟練の技術者に見られながら、おじけづいていました。わたしは若く、専門知識ありません。しかし、二人は助手をしようと申し出てくれました。わたしは落ち着きませんでしたが同時に、名誉なことだとも感じました。

正午まであと数分というとき、社長と上司はわたしたちの努力はやはり無駄だったと感じた様子でした。わたしは席を外し、トイレに行きました。ひざまずき、天の御父に祈りました。言

葉にできない、不思議な力を感じました。伝道資金のために仕事を得ることが必要だったので、神に助けを求めました。

力を得てトイレから出てくると、二人はすでに電気回路部分を閉じて、工具を片付けていました。わたしは機械を再び開けて、内側の15枚の回路基板を注意深く点検しました。すると、システムの4,000以上あるピンのうちの 하나가、カードに接続していないことに気づきました。それを所定の位置に入れて接続し、機械の電源を入れました。すると、動いたのです！それは奇跡でした。

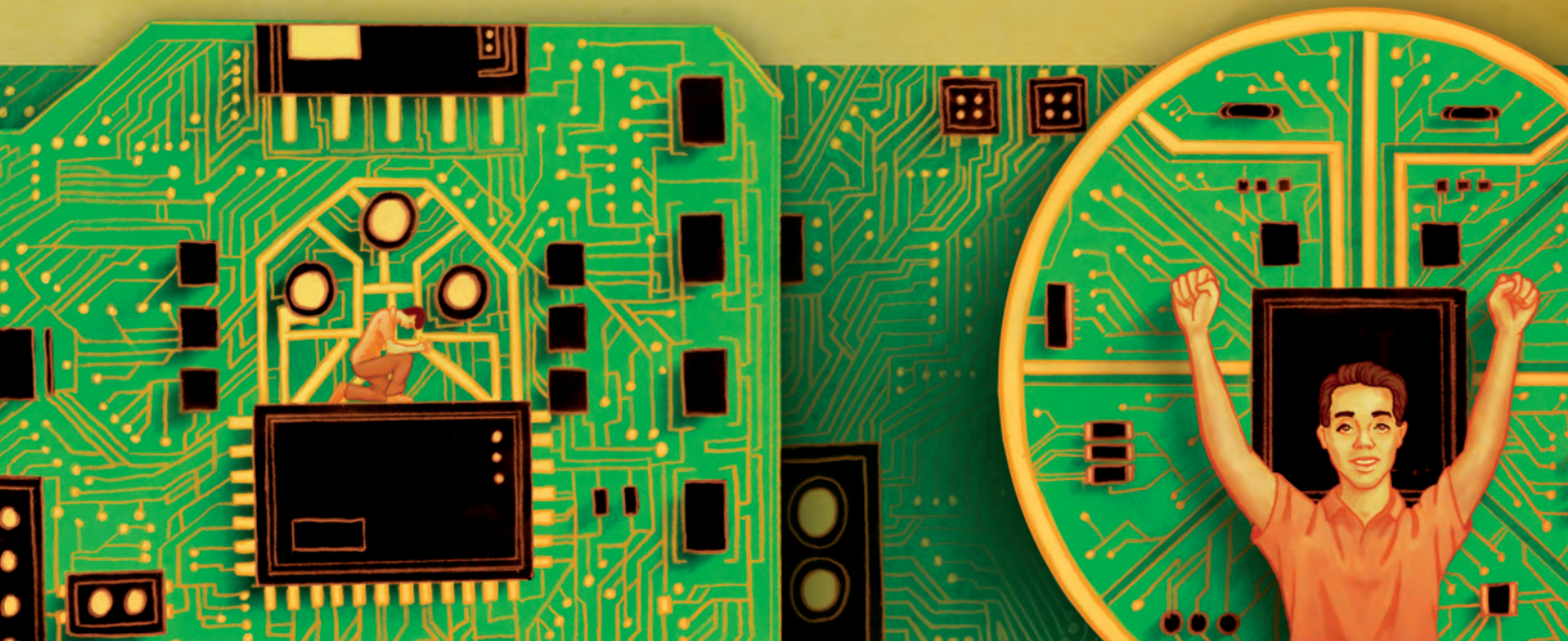
その瞬間は、感動的で忘れることができません。上司はわたしを抱き締め、社長も興奮しながら握手をして成

功を祝ってくれました。

わたしはその会社で2年近く働き、必要な資金をためて、長い間待ち望んでいた伝道に出ることができました。会社を辞める理由を説明すると、社長は別れを告げながらこう言いました。「君の伝道が終わったら、どこに働きに戻るか分かっているね。成功を祈っているよ。」

この経験から、神に不可能なことは何もないのだと知ることができました。疑わなければ奇跡は起こりますが、信仰の試しの後にだけ、それも土壇場でそれは起こります。そうです、奇跡は起こるのです。■

筆者はベネズエラのアラグア在住です。



待つ^{まち}かちがある



なぜわたしは今
バプテスマを
受けられないのでしょうか。

ジェシカ・ラーセン

ほんとうに本当にあったお話をもとに書かれました。

「イエスのようにバプテスマを受ける
ことが……わたしのしたいことです」
(英語の『子供の歌集』104)

「**今**日は新しい歌を覚えます」と
リード姉妹が発表しました。
「『バプテスマ』という歌です。みなさん
目をとじて、音楽を聞いてください
ね。」

わたしは目をとじて、椅子にすわって
リラックスしていました。ピアノを
ひく人がメロディーをひき始めましたが、
それは流れる水のようにやさしく、
おだやかでした。そしてリード
姉妹が歌い始めました。「バプテ
スマのヨハネにイエスさま来られ、
ヨルダンの川に入り、バプテ
スマを受けた」

わたしは、なみだがほおを伝って
流れるのを感じました。お母さんに見
られる前に、なみだをふこうとしま
したが、間に合いませんでした。お
母さんは初等協会の会長で、いつも
すべてを見ていました。お母さんが
わたしを見て、悲しそうにほほ
えむのが見えました。お母さんは、
わたしがなぜ泣いているかを知って
いました。

教会の後、妹のジュリーは家に
帰る車の中でずっとその歌をハ
ミングしていました。わたしはだまっ
ていました。

「一緒にぬり絵をしない？」家に着
くとジュリーが言いました。

わたしは首をふって言いました。

「また後でね。その前にやらなきゃいけないことがあるの。」

リビングにいますお父さんを見つめました。お父さんは、お気に入りの椅子にすわって、開いた本をひざの上に置いていました。ジュリーとお母さんとわたしが教会に行っている間、お父さんは本を読むのが好きでした。

わたしは深く息をすいこむと「お父さん？」と言いました。「バプテスマを受けてもいい？」

お父さんは本をとじると、わたしに自分のとりにすわるように言いました。

「あのね、サディー、それについては前に話したね。わたしの答えは今もノーだよ。」

「でも、ほんとうに受けたいのよ！」とわたしは言いました。「2か月ちょっと前に8才になって、そのことについてよく考えたの。教会が真実だって知っているから、待てば待つほど、バプテスマを受けたいということが分かるのよ。」

お父さんは首を横にふりました。「それでもお父さんは、そんな大きな決心をするにはサディーはまだわかすぎだと思うんだ。でも、お父さんが君を愛していることは分かるね。」

「分かっているわ。」わたしは、お父さんがわたしのために一番よいことを望んでくれているのを知っていました。お父さんはただ、わたしにはまだこの選りをするじゅんぴはできていないと思っていたのです。

わたしは自分の部屋に急いでもどり、頭を下げました。それまでにないくらい一生懸命にいのりました。「天のお父様、わたしはほんとうにバプテスマを受けたいです。お父さんが分かってくれるように助けてください。」

最初は何も起こりませんでした。わたしはひざまずいたままです。「バプテスマ」の歌のメロディーが頭の中に流れました。しばらくすると、悲しい気持ちはなくなりました。その代わり、心の中に平安を感じました。まだバプテスマを受けることはできなくても、自分にできるいろいろなことが思いうかびました。



待たなければならないときは

- 福音についてできるだけ多くを学ぶ。
- バプテスマ会に行って、自分がバプテスマを受けられる日を楽しみにする。
- 必要なときは神権の祝福をお願いする。
- わすれないでください。天のお父様とイエス様はあなたを愛し、あなたのいのりを聞いてくださいます。

いのり続け、初等協会に行き続けることもできます。ジュリーにもはんを見せることも、来週、お母さんにわたしのために断食してくれるようお願いすることもできます。夕飯を食べに行くとき、平安な気持ちが心の中になりました。いつかは分からないけれど、いつかバプテスマを受けるでしょう。そして、その日を待つちはあるのです。

6か月後、9才の誕生日の2日前、お父さんはサディーがバプテスマを受けるのをゆるしてくれました。■

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国テキサス州に住んでいます。



十二使徒定員会

ジェフリー・R・
ホランド長老

自分は足りないと思ったら どうすればよいですか

あきらめてはいけません。イエス・キリストのあがないによって、わたしたちはより良くなることができます。

イエス・キリストは、より良くなりたいと願い、いましめを守ろうと努力する人々を祝福してください。わたしたちは努力に対して、必ずそのむくいを得ます。

だれもがつまずきますが、救い主は立ち直れるように助けてくださいます。主は、みなさんがくい改め、つぐない、しゅうふくすべきところをすべてしゅうふくし、努力し続けられるように助けてくださいます。

ですから、愛し続け、努力し続け、信頼し続け、信じ続け、成長し続けてください。天は、今日も、明日も、永遠にわたって、あなたをおうえんしているのです。

「あす、主が
あなたがたのうちに
不思議を行われるからである」
『リアホナ』2016年5月号、
124 - 127 から

わたしはときどき
家族にいらいます。
どうすればよいでしょうか。



天のお父様にいのって、家族にやさしくできるように助けを求めてください。
家族のみんなをだきしめましょう。
ノア・F, 10才
(オーストラリア, クイーンズランド州)



ジュリア: これまでに家族とすごした楽しい時間をすべて思い出して、そうした楽しい時間のことと、人がいかに不完全であるかということを考えてみましょう。



ブルーナ: 「ごめんなさい」と言われなくても、わたしはみんなをゆるめます。

ジュリア・R, 13才とブルーナ・R, 8才
(ブラジル, サンパウロ州)



もし妹がうるさかったら、妹をねかしつけるか、おやつを作ってあげます。カードを作ることやいつもよりたくさんお手伝いすること、いのことも好きです。正しいことをしたのだと、御霊から言われるのを感じます。

アデリーン・B, 9才 (アメリカ合衆国, テネシー州)



わたしなら、いのり、家庭の夕べをして、家族と話します。

ルイザ・R, 9才
(メキシコ, バハ・カリフォルニア州)



ジュリア: 家族に親切にすることができます。そして、いらいらするときには、みんなを愛していると言って、仲良くします。わたしは、救い主にしたがい、みんなに愛をしめすことができます。



ダリン: 元気でいて、家族と話し、家族を助けてあげてください。

ジュリア・S, 8才とダリン・S, 6才
(アメリカ合衆国, ニューメキシコ州)

新しい質問

「兄が良くない選択をしています。
わたしはどうすればよいでしょうか。」

あなたの答えと写真を2017年4月15日までに送ってください。
liahona.lds.org からオンラインで送るか、liahona@ldschurch.org に電子メールで送ってください。(「件名」に「質問コーナー」と書いてください。) 親のきよかの手紙をいっしょに送ってください。

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、
教会の教義を公式に宣言するものではありません。



愛をえがく

ジル・ハッキング (アメリカ合衆国ニューヨーク州)



強くなる

ルーシーは、生まれたときから、筋肉がうまく動かない病気にかかっています。そのために、飲みこんだり、話したりすることがよくできません。ルーシーはもっと強くなるために、特別な自転車に乗って、家族とハイキングに行きます。

絵をかく

ルーシーのお母さんは芸術家です。ルーシーは赤ちゃんのとき、お母さんが絵をかくのを見ているのが大好きでした。今、お母さんはルーシーに絵のかき方を教えてくれます。ルーシーは一緒に使うときれいに見える色を使うのが好きで、とてもいいに色をぬります。いつか、お母さんと一緒にアトリエを持ちたいと思っています。

ルーシーの心

ルーシーとお姉さんたちは、学校で行われた、世界をもっと良い場所にするという芸術コンテストにおうぼしました。ルーシーは、心の絵をかきたいと思いました。「もしも心に愛を持ったら、世界はもっと良い場所になるでしょう」と言いました。

こんにちは！
わたしの名前は
ルーシーです。

わたしは家族と一緒に
アメリカのユタ州に住んでいます。
わたしは絵をかくことと、
人々と愛を分かち合うことが好きです。



やさしい妹

ルーシーは、自分の絵がコンテストで入賞したと知ったとき、お姉さんのルビーに「お姉さんの絵、とてもすてきよ。わたしでなくてお姉さんが入賞したらよかったのに」と言いました。ルーシーは、自分の絵がアメリカ全土で賞を取ったと知って、信じられませんでした。

気持ちを伝える特別な方法

ルーシーにとって、自分の気持ちを人に伝えるのはむずかしいことです。でも、ルーシーは人々が幸せで愛されていると感じられるように助けたいと思っています。そして彼女の絵は、人々をそのような気持ちにさせてくれるのです。



愛をしめすための ルーシーのアイデア

心に愛を持ちましょう。
愛は幸せな気持ちにさせてくれます。
人々に親切にしましょう。

ハートを送ってください

愛をしめすことによって、あなたはどのようにイエスにしたがっていますか。両親のきょうか書といっしょに、ハートに書いたあなたの経験談と写真を送ってください。Liahona.Ids.org から、「投稿する」をクリックして送るか、liahona@ldschurch.org に電子メールを送ってください。



すばらしい気持ち

ジェーン・マクブライド

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

パウロが水から上がった後、パウロとお父さんはかわいた洋服を着ました。その後、お父さんとおじいちゃん
とビショップがパウロの頭に手をおいて、かくにんの儀式を
してくれました。パウロは、末日聖徒イエス・キリスト教会
の会員になったのです。

パウロはむねに手を当てて「ここに、すごい気持ちがあるよ」と言いました。

お母さんはしっかりとパウロをだきしめてくれました。「それはね、あなたがかくにんの儀式を受けるときにせいいの賜物を受けたからなのよ。」

パウロはうなずくと、そのすばらしい気持ちがなくなってしまうようなことは何もしたくないと思いました。

ところが、そう言った次の日、弟のカルロがパウロのおもちゃの飛行機をこわしてしまったのです。パウロはそれを買うために、まるまる1か月お金をためたというのに。

「何てことをしてくれたんだ!」パウロはどなりました。「人の物にさわるなよ。」

「ごめんなさい」と言うカルロのほおに涙が伝いました。「直せるかもしれないよ。」

「そんなことをしても元どおりになんかならないよ。」

カルロは泣きながら部屋を出て行きました。

パウロは心の中にひどくいやな気持ちを感じました。イエスはどなったり、おこったりされないということを、パウロは知っていました。バプテスマの後に感じたあの気持ちをもう一度感じられるのでしょうか。

「イエス様のようになるって約束したのに、もう失敗しちゃった。」ふるえる声でお母さんに言うと、

「たしかに、あなたは間違いをおかしたかもしれないわ。でも、イエス様はわたしたちが間違いをした後でもせいいいをまた感じられるように、道をそなえてくださったのよ」とお母さんはやさしく言いました。

パウロは、お母さんが何を言おうとしているか分かっていました。「分かるよ。くい改めでしょう。ゆるして下さるようお願いするんだよね。」

お母さんはうなずきました。「そして、せいさんを受ける

パウロは失敗してしまいました。
どうすればよいのでしょうか。



とき、イエス様にしがうという約束を新たにするのよ。そうしたら、バプテスマとかくにんの儀式を受けたばかりのときと同じように清くなれるの。」

パウロはカルロをさがしに行きました。「どなってごめんよ。一緒に飛行機を直そう」と言いました。

カルロがにっこりしたのを見て、パウロはイエスだったらされることを自分はすることができたと感じました。その晩おいのりの中で、「ゆるしてください、カルロにもっとやさしくなれるように助けてください」とお願いしました。パウロの心に静かな平安がおとずれました。

次の日曜日、教会で、パウロはせいさんのいのりにもっと耳をかたむけました。注意して一つ一つの言葉を聞きました。パンと水をいただくとき、天のお父様が自分を愛して下さっているのを感じました。お母さんの言うとおりでした。あのすばらしい気持ちがもどりました。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国コロラド州に住んでいます。

- 新しい飛行機の羽は、ピカピカ光ります。羽の上を通る空気が、飛行機をうかします。

- でも、氷や雪が羽の上にたまると、空気がスムーズに羽の上を流れなくなって、飛行機は安全に飛べなくなるのです。

- 飛行機を飛ばす前に、大きなホースを使って羽の上にたまったものを取りのぞくと、またピカピカに光ります。

- そうすると、飛行機は新しいときと同じように飛ぶことができます。

羽を ピカピカにしておく

- パプテスマを受けるとき、つみがなくなり、せいいいの賜物を受けて学び成長できるように助けられます。
- 間違った選びをすると、せいいいを感じにくくなります。
- くい改めて助けを求めているるとき、天のお父様はわたしたちをゆるしてくださいます。つみが取りのぞかれます。せいいいはわたしたちとともにいてくださることができます。
- 救い主のあがないのおかげで、毎日くい改めることができます。日曜日にせいさんを受けると、清められ、イエスを覚え、幸せで新しいスタートを切ることができます。



七十人

キム・B・クラーク長老

神の預言者を見る

わたしは11才のとき、ワードで新しい教会堂を建ててのを手伝いました。そのころ、会員たちはくぎを打ったり、かべにペンキをぬったり、あらゆることをして教会堂を建てる仕事を助けたのです。

デビッド・O・マッケイ大管長（1873－1970年）が教会堂をほうけんするとき、わたしもそこにいたいと思ひから思いました。両親はわたしに行ってもいいと言ってくれました。わたしは早めに行き、前の列にすわりました。

マッケイ大管長が近くまで来たのを覚えています。大管長が立つ様子や、人々に話しかける様子、人々にせつする様子を見ました。キラキラした青い目をしていて、かみの毛は白かったです。かれは預言者のように見えました。大管長が話し、ほうけんのいのりをささげるのを聞いたとき、この人は神の預言者だと心で分かりました。



デビッド・O・マッケイ大管長は教会の第9大管長で、1951年から1970年まで奉仕しました。

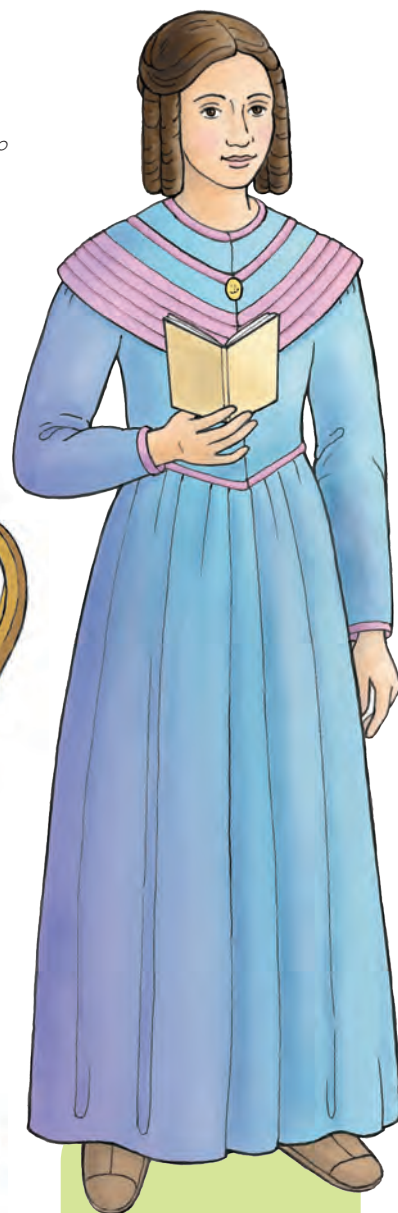
「これはわたしの預言者である」という天のお父様からの霊的な思いを強く感じました。天のお父様はせいいを通して、マッケイ大管長はご自分の預言者であることを教えてくださっていたのです。

マッケイ大管長が神の預言者であることが分かること、教会も真実であり、ジョセフ・スミスが預言者であることも分かりました。モルモン書と福音の回復が真実であると分かりました。ジョセフ・スミスからデビッド・O・マッケイ大管長にいたるすべての預言者が神の預言者であることも分かりました。

今も新しい預言者がめされるたびに、「これはわたしの預言者である」という同じかくにんを受けます。それはおさないころから始まって今も続いています。■

きょう かい そ し き 教会が組織される

とう じょう じん ぶつ か み に ん ぎ ょ う つ か きょう かい れき し も の が た り わ あ
登場人物の紙人形を使って、教会歴史の物語を分かち合いましょう。



エマ・スミス



モルモン書がほんやくされた後、1 冊の聖典として出版されました。1 か月後、末日聖徒イエス・キリスト教会の最初の公式の集会在ある農家で開かれました。およそ 60 人の人が集まりました。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリがせいさんを祝福し、配りました。ついに、イエス・キリストの教会がふたたび地上に組織されたのです。数か月後、主はジョセフのつまであるエマ・スミスに、聖徒たちが教会の集会で歌えるよう賛美歌を集めるように言われました。

バプテスマを受けられたイエス

キム・ウェブ・リード (アメリカ合衆国ユタ州)



バプテスマのヨハネは
偉大な預言者でした。
人々にくい改めるように教え、
バプテスマをほどこしました。

ある日ヨハネは、ヨルダン川で人々に
バプテスマをほどこしていました。

イエスが来られ、自分に
バプテスマをほどこしてほしいと
ヨハネに言われました。

ヨハネはイエスは何のつみも
持っておられないことを
知っていました。

ではなぜイエスはバプテスマを
受けたいと思われたのでしょうか。



イエスは、すべてのいましめを
守る必要があると
言われました。
バプテスマを受けることは
いましめでした。



ヨハネがイエスにバプテスマをほどこした^{あと}後、ハトがぐだりました。それは、せいれいがそこにおられることのしるしでした。^{てん}天から、^{てん}天のお父様の^{こえ}声が聞こえてきました。「これはわたしの愛する子^こ、わたしの心^{こころ}にかなう者^{もの}である。」(マタイ3:17)



わたしたちは、イエスのようにいましめにしたがってバプテスマを受けることができます。
そうすれば、かくにんを受けて、せいいの賜物^{たまもの}を受けることもできます。

からだ かんしゃ
わたしは体に感謝します





第9代大管長
デビッド・O・
マッケイ大管長
(1873 - 1970 年)

ダンディの残した教訓

一部の若者のように、
わたしの愛馬ダンディも
束縛が嫌いでした。



わたしはかつて小型の馬を所有していたことがあり、〔ダンディという名の育ちの良いその馬を〕訓練することは実に楽しいことでした。ダンディは、気質も良く、澄んだ丸い目をしていて、体型も良く、言ってみれば、えり抜きの〔馬〕でした。人が乗れば、ダンディは積極的で反応もよく、協調的で、これ以上の馬はないと思われるほどでした。ダンディとわたしの愛犬のスコッティは、ほんとうに仲の良い同僚でした。わたしは、ダンディが怖がっているものに近づくときの、その近づき方が好きでした。ダンディは、もしわたしの指示どおりに行動したら絶対にけがをすることはないという信頼をわたしに置いていました。

しかし、ダンディは束縛されることは嫌いでした。つながれているときは機嫌が悪く、つないだロープを少しずつかじっては、自由になろうとしたものでした。でも、逃げ出すわけではありません。ただ自由になりたかっただけなのです。ほかの馬たちもきっと同じだと考えると、ダンディはその馬たちのロープもほどこいてやろうとしました。ダンディは、囲いのある牧場

に閉じ込められるのを嫌がりました。そのため、柵の一部に少しでもワイヤーが緩い箇所を見つけると、そこをひづめで慎重に踏みつけ、自分がそのワイヤーを跳び超えて自由になれるまで頑張るのです。わたしの親切な隣人が、ダンディを牧場に戻して

くれたことも幾度となくありました。やがてダンディは門扉を押して開けることすら覚えたのです。〔それがもとで受けた損害には〕腹も立ち、時にはかなりの出費になることがありました。ダンディの賢さと器用さには感心したものでした。

しかし、この好奇心と近くを探検してみたいという願望のために、ダンディ自身もわたしもトラブルに巻き込まれることになったのです。あるとき、ダンディは公道で自動車にはねられたことがありました。その結果、自動車を大破してしまい、自分もけがをして、さらに、重傷ではなかったものの、運転手にけがをさせてしまいました。

けがから回復し、それでも冒険心にまた突き動かされたダンディは、境界全体の柵を細かくチェックし始めました。今回はすべての門扉もワイヤーで閉じられていることに気づいたことで

しょう。そのため、しばらくの間、わたしたちはダンディが牧場の内側でおとなしくしているものと思っていました。

しかしながら、ある日のこと、だれかが門扉のワイヤーを閉じ忘れたのです。これがかぎつけたダンディは、門扉のワイヤーを外し、〔他のもう1頭の馬を〕引き連れて、一緒に隣人の畑に入っていました。そして、倉庫として使われている、ある古い家屋の所まで来ました。好奇心に駆られたダンディは、その扉も押し開けてしまったのです。ダンディの想像どおりでした。そこには穀物の貯蔵袋が置いてあったのです。何というものを見つけたことでしょうか。そして間違いなく、それは悲劇の始まりでした。その穀物は、ねずみ捕獲用の毒入りのえさだったのです。数分のうちにダンディとその仲間、痛みを伴うけいれんを起こし、間もなく2頭とも死んでしまいました。

わたしたちの青少年の中にも、ダンディのような若者がどれほど多くいることでしょうか。彼は悪い行いをしているわけではありません。それどころか、間違っただけをしようという気持ちさえありません。しかし、若者たちは、衝動的であり、躍動感にあふれ、好奇心に満ちています。そして何か行動を起こしたいと願っているのです。青少年もまた、束縛の中で〔動き回って〕います。しかし、もし彼らをいつでも忙しい状態に置き、慎重にまた正しく導けば、彼らは実に信頼できる存在で、その能力もあることを示してくれます。一方で、導くこともせずにさまようままにしておくと、彼らもまた多くの場合、義の原則に反するを行い、やがて、悪事や災害、そして時には死のわなへと取り込まれることも往々にしてあるのです。■

〔大会報告〕1968年10月、87から。（現代の書式に変えてあります。）



「ヤイロの娘をよみがえらせる」
ジェレミー・ウィンボーク画

「イエスは娘の手を取って、呼びかけて言われた、『娘よ、起きなさい。』」(ルカ8:54)

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

信者の模範になる

争いや怒りを引き起こすことなく、福音に堅く立ち真理を人々に教えるにはどうすればよいでしょうか。



44
ページ

青少年

50
ページ



悔い改めについて抱く

7つの恐れと、 恐れる必要はない理由

恐れのために、悔い改めと赦しによってもたらされる平安と喜びから遠ざかることのないようにしてください。

子供

すばらしい気持ち

バプテスマを受けた後に間違っ^{あやまち}たことをしてしまうと、どうなるでしょうか。あのときのすばらしい気持ち^{きもち}をもう一度^{いちど}感じるにはどうしたらよいでしょうか。



72
ページ

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

JAPANESE



14443 300